

平成28年度(2016年度)

事業報告書

社会福祉法人 あ り ん こ

◇本部	1 ページ～
◇障害福祉サービス事業所ありんこ	5 ページ～
◇グループホームそよかぜ	14 ページ～
◇ライフサポートセンターありんこ	
・富士北麓障がい者相談支援センターありんこ	
指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業	17 ページ～
基本相談（6市町村委託相談）事業	21 ページ～
・障がい者就業・生活支援センターありす	24 ページ～
・山梨県相談支援体制整備事業	26 ページ～

社会福祉法人ありんこ

平成28年度事業報告書

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

【法人概要】

種 類 及 び 名 称	社会福祉法人ありんこ
所 在 地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28 (TEL) 0555-22-7217
代 表 者	理事長 渡 邊 秀 樹
設 立 年 月 日	平成 13年 10月 26日

【法人の事業】

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種 類 及 び 名 称		障害福祉サービス事業所ありんこ									
所 在 地		山梨県富士吉田市大明見 1－13－28									
電 話 番 号		0555－22－7217			F A X 番号			0555－22－7218			
代 表 者		管理者 桑原 節子			サー ビ ス 管 理 責 任 者			桑 原 由 紀 枝			
事業開始年月日		平成 22年 4月 1日									
事 業	自立訓練(生活訓練)	定員	6	年度末 現員	5	開 所 時 間	9 時 ～ 16時30分 (7. 5時間)				
	就 労 移 行 支 援	定員	6	年度末 現員	5	開 所 日	月～金曜日 (土・日の行事あり)				
	就労継続支援B型	定員	30	年度末 現員	34	開 所 日 数	248日(生活)		258日(移行)		298日(継続B)
職 員	職 種	施設長	サービス 管理責任者	生活支援員	職業指導員	就労 支援員	支援 員	目標工賃 達成指導員	調理員	事務員	
	人数	1	1	5	7	1	1	1	6	2	
内 容	訓練科目	・ 調理、清掃、洗濯、裁縫、草取り等家事訓練 ・ コミュニケーション訓練、金銭管理訓練、衛生管理訓練、生産従事訓練、体力作り ・ 社会人マナー訓練、社会資源活用体験 ・ 企業実習、施設外就労、施設外支援									
	授産種目	・ 就職活動相談及び支援 ・ パソコン技能、運転免許取得等の学習 ・ 紙器加工、精密部品処理、野草他サンプル等の袋詰めなどの簡易受注作業 ・ お弁当、お菓子、手工芸品、加工品などの自主製品づくりと販売活動									
	他の活動	・ アルミ缶や古紙などの回収、仕分 ・ バザーや模擬店の出店 ・ 各種研修会への参加 ・ 地域との交流事業 ・ ボランティア活動 ・ レクリエーション活動 ・ 余暇活動、創作活動支援 ・ カフェ運営									

種 類 及 び 名 称	知的障害者外部サービス利用型共同生活援助事業			グループホームそよかぜ		
所 在 地	山梨県富士吉田市下吉田５－１３－１８			(TEL) ０５５５－２３－０２９４		
バックアップ施設	障害福祉サービス事業所ありんこ	管 理 者	桑 原 節 子			
事 業 開 始 年 月 日	平成 １ ９ 年 １ １ 月 １ 日	サービス管理責任者	宮 下 典 子			
事 業 の 運 営 方 針	障がいをもつ方が、地域で当たり前に生活できるような環境づくりを目指し、本人の意思及び人格を尊重し、健全で主体的な生活が送れるように、利用者の立場に立って援助を行い、自立生活や地域活動の充実を図ります。					
利 用 定 員	７名（女性）		年 度 末 現 員	７名（女性）		
職 員	サービス管理責任兼世話人１名（常勤）			世話人４名（常勤２名 非常勤２名）		

■第二種社会福祉事業（相談支援事業）の実施

種 類 及 び 名 称	障がい者就業・生活支援センターありす （国、県からの委託事業）		
所 在 地	山梨県富士吉田市新西原３－４－２０		
電 話 番 号	０５５５－３０－０５０５	F A X 番号	０５５５－３０－０５０６
代 表 者	センター長 三浦 誠	事 業 開 始 年 月 日	平成２３年 ４月 １日
職 員	主任就労支援員（常勤１名） 就労支援員（常勤１名） 生活支援員（常勤１名・他事業兼務職員１名）		
事業の目的と内容	就職を希望する障がい者、職場不適応により離職した障がい者や離職のおそれがある在職中の障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ります。		

種 類 及 び 名 称	富士北麓障がい者相談支援センターありんこ （基本相談＝富士北麓６市町村からの委託事業） （指定特定・指定障害児相談＝富士吉田市指定） （指定一般相談＝山梨県指定）		
所 在 地	山梨県富士吉田市新西原３－４－２０		
電 話 番 号	０５５５－３０－０５０５	F A X 番号	０５５５－３０－０５０６
代 表 者	管理者 高橋 敏夫	事 業 開 始 年 月 日	平成２３年 ４月 １日
相 談 担 当 者	相談支援専門員（非常勤１名・他事業兼務職員２名・相談支援員と兼務１名）相談支援員（非常勤１名）		
事業の目的と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者、家族、介護者、関係者等（以下「障がい者等」という。）からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、その他の障がい福祉サービスの利用等、必要な支援を行うことにより、障がい者等が自立した生活または社会生活を営むことが出来るようにします。 ・ サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成し、モニタリングを実施し継続支援を行います。 ・ 地域移行支援、地域定着支援を行います。 		

種 類 及 び 名 称	山梨県相談体制整備事業 （山梨県からの委託事業）		
所 在 地	山梨県富士吉田市新西原３－４－２０		
電 話 番 号	０５５５－３０－０５０５	F A X 番号	０５５５－３０－０５０６
代 表 者	理事長 渡 邊 秀 樹	事 業 開 始 年 月 日	平成２３年 ８月 １日
担 当 者	富士・東備圏域マネージャー 渡辺典子		
事業の目的と内容	県内の障害保健福祉圏域ごとに「圏域マネージャー」を配置し、各市町村及び圏域における相談支援体制の構築に向けて必要な支援を行うことにより、障がいを持つ方が地域でいきいきと安心して暮らせる社会の実現に資することを目的に、障害者の意思を尊重する視点に立ち、生活全般にわたり必要なサービスを適切に利用できるよう相談支援事業者等に支援及び助言をします。また、公的制度以外の取り組みを含め、圏域における支援体制を構築します。		

【法人の運営】

＜理事会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	H 2 8 / 4 / 2 7	7 (1)	第 1 号議案 平成 2 7 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 2 7 年度収支決算（案）について 第 3 号議案 平成 2 8 年第 1 次補正予算（案）について 第 4 号議案 その他
2	H 2 8 / 7 / 2 7	7 (1)	第 1 号議案 平成 2 9 年度障害児（者）施設整備補助金の申請について 第 2 号議案 職員の昇格について 第 3 号議案 その他
3	H 2 8 / 9 / 1 3	6 (1)	第 1 号議案 補助金の申請及び、新規事業展開について 第 2 号議案 平成 2 8 年度第 2 次補正予算（案）について 第 3 号議案 各種規定の制定について 第 4 号議案 その他
4	H 2 8 / 1 2 / 6	7 (1)	第 1 号議案 定款の変更について 第 2 号議案 評議員選定・解任委員会細則について 第 3 号議案 その他
5	H 2 8 / 1 2 / 1 9	7 (1)	第 1 号議案 定款変更と評議員選定・解任委員会細則について 第 2 号議案 その他
6	H 2 9 / 1 / 2 7	7 (1)	第 1 号議案 新規事業物件購入と補助金申請について 第 2 号議案 その他
7	H 2 9 / 3 / 1 7	5 (1)	第 1 号議案 新事業物件および施設整備補助金・積立金について 第 2 号議案 規程の改定について 第 3 号議案 平成 2 9 年度職員人員配置について 第 4 号議案 その他
8	H 2 9 / 3 / 2 9	7 (1)	第 1 号議案 平成 2 9 年度事業計画について 第 2 号議案 平成 2 9 年度収支予算について 第 3 号議案 定款変更について 第 4 号議案 その他

※（ ）は監事出席

＜評議員会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	H 2 9 / 5 / 2 7	1 6 (1)	第 1 号議案 平成 2 7 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 2 7 年度収支決算（案）について 第 3 号議案 平成 2 8 年第 1 次補正予算（案）について 第 4 号議案 その他
2	H 2 9 / 9 / 1 3	1 6 (1)	第 1 号議案 補助金の申請及び、新規事業展開について 第 2 号議案 平成 2 8 年度第 2 次補正予算（案）について 第 3 号議案 その他
3	H 2 9 / 1 2 / 1 9	1 2 (1)	第 1 号議案 定款変更（案）について 第 2 号議案 評議員選任・解任委員会運営細則（案）について 第 3 号議案 その他
4	H 2 9 / 1 / 2 7	1 1 (1)	第 1 号議案 事業物件の購入および施設整備補助金について 第 2 号議案 その他
5	H 2 9 / 3 / 2 9	1 1 (1)	第 1 号議案 平成 2 9 年度事業計画について 第 2 号議案 平成 2 9 年度収支予算について 第 3 号議案 定款変更について 第 4 号議案 その他

※（ ）は監事出席

＜その他の活動＞

月	日	曜	主な活動内容
4	1	金	新年度法人全体顔合わせ集会
	29	金	ありんこフリーマーケット広場開催（富士山レーダードーム前広場）
5	24	火	法人内部監査
6	19	日	障害者援護の会ありんこ定期総会・研修会
8	7	日	高座神社祭典参列
	17	水	山の神社祭典参列
10	16	日	ありんこ祭り開催
11	1	火	富士吉田市による指導監査
1	17	火	山の神社祭典参列
	25	日	天神社祭典参列
	29	日	ありんこグループ新年互礼会
2	12	日	初午祭
3	11	日	共生社会について考える研修会開催（市民会館3F）

＜一般寄付金＞

連合山梨 様 岡田俊哉 様 （株）NTT東日本サービス 様 （株）NTTビジネスアソシエ東日本 様
 （株）エヌ・ティ・ティエムイー 様 NTT東京・山梨グループ社会福祉を進める会 様
 （株）NTT東日本一南関東 様

＜物品寄付＞

（株）キトー 様 （株）ヴァントーレ山梨スポーツクラブ 様 （財）テレビ山梨厚生文化事業団 様
 山梨県測量設計業組合 様 山梨県ボランティア協会 様 富士吉田市社会福祉協議会 様
 住友生命保険相互会社山梨支社 様 住友生命労働組合山梨支部 様
 明見中学校 様 吉澤製パン 様 慈光院 様 総合リサイクルセンター黒田 様
 （有）亀齡堂 様 ファルマフード研究所 様 DCT地域発展事業推進委員会 様
 羽田紙器 様 明治安田生命 様 松野屋 様 三枝農園 様 久保田一竹美術館 様



ありんこ新年互礼会



ありんこ祭り2017



うどんcafé ありんどう



障害福祉サービス事業所ありんこ

平成28年度事業報告書

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

1. 利用者

定 員 生活訓練 6名 就労移行支援 6名 就労継続支援B型 30名
 年度末現員 生活訓練 5名 就労移行支援 6名 就労継続支援B型 35名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活訓練	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
就労移行	6	6	6	6	6	4	6	5	5	5	6	6
就労継続B	37	37	37	37	37	37	35	36	36	36	36	35
合 計	48	48	48	48	48	46	46	46	46	46	47	46

生活訓練 = 変更なし

就労移行 = 8月に 3名終了(3名就職) 9月に 1名利用開始(新規)
 10月に 2名利用開始(就労継続Bから) 10月に 1名終了(就労継続Bへ)
 2月に 1名利用開始(新規)
 3月に 1名終了(就職)

就労継続B = 9月に 2名終了(就労移行へ) 11月に 1名利用開始(就労移行から)
 2月に 1名終了 3月に 1名終了(就職)

支給決定市町村 富士吉田市 (33名) 富士河口湖町 (10名) 西桂町 (2名)
 (述べ実人数) 忍野村 (2名) 道志村 (1名) 上野原市 (2名)

2. 職員

施設長(常勤) 1名 目標工賃達成指導員(常勤) 1名
 サービス管理責任者(常勤) 1名 就労支援員(常勤) 1名
 生活支援員(常勤) 2名 (非常勤) 2名 調理員(非常勤) 6名
 生活支援員兼相談支援専門員(常勤) 1名 事務員(常勤) 1名
 職業指導員(常勤) 2名 (非常勤) 5名 事務員兼生活支援員(常勤) 1名

3. 開所日数・延べ利用人数・1日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活訓練	日	22	20	22	21	23	22	22	22	21	20	20	23	258
	人数	99	91	105	96	96	99	99	96	93	80	95	107	1,156
就労移行	日	22	22	22	22	24	24	23	23	20	21	20	23	266
	人数	117	117	123	118	111	97	143	119	92	86	95	92	1,310
就労継続B	日	25	23	23	25	25	26	25	25	21	23	21	24	286
	人数	749	693	748	726	700	765	709	689	680	609	657	685	8,410
合計	日	23.0	21.6	22.3	22.6	24.0	24.0	23.3	23.3	20.6	21.3	20.3	23.3	269.6
	人数	965	901	976	940	907	961	951	904	865	775	847	884	10,876

4. 工賃・謝金等支払月別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生活訓練	支払総額	22,304	21,219	22,418	25,111	27,773	30,578
	平均謝金	4,461	4,244	4,484	5,022	5,555	6,116
就労移行	支払総額	81,144	82,397	84,390	89,057	89,830	90,005
	平均賃金	13,524	13,733	14,065	14,843	14,972	15,001
就労継続B	支払総額	588,759	608,135	628,241	654,724	628,144	590,474
	平均賃金	15,912	16,436	16,979	17,695	16,977	16,871

		11月	賞与	12月	1月	2月	3月	合計
生活 訓練	支払総額	32,778	24,780	31,514	26,672	35,033	207,031	534,579
	平均謝金	6,556	24,780	6,303	5,334	7,007	41,406	8,910
就労 移行	支払総額	71,521	19,740	66,486	41,032	47,430	54,982	869,172
	平均賃金	14,304	19,740	13,297	8,206	9,486	13,746	13,581
就労 継続 B	支払総額	606,141	412,967	620,634	541,942	579,606	1,834,786	8,942,756
	平均賃金	16,837	412,967	17,240	15,054	16,100	52,422	20,605

5. 活動報告

①自立訓練(生活訓練)

自主通勤訓練 掃除訓練 洗濯訓練 裁縫訓練 買い物訓練 調理訓練
 金銭訓練 社会資源利用訓練 生産活動訓練
 コミュニケーション訓練 地域交流活動 地域清掃活動 四季の行事体験
 時事学習 体力づくり 健康診断 研修会・講演会参加
 創作活動 イベント参加 月間目標決め

平成28年度は女性1名男性4名（内新卒者2名）での活動でした。中には既に一人暮らしをされている方や自宅の家事全般を任されている方がおられ、臭わない洗濯の仕方、無駄のない買い物方法など工夫をこらした家事が出来るよう進めて参りました。

また年中行事を調理訓練に取り入れ、十五夜の団子作り、冬至のかぼちゃのおやき作りを行い、日本人の文化に「食」から触れる取り組みを行いました。初夏には季節野菜（きゅうり、トマト、バジル）の栽培に挑戦し、苗植え、水やり、追肥、収穫の一連の作業とトマトとバジルを使ったクラッカー作りを行い、季節の味を堪能しました。

引き続き行っている事業所周辺のゴミ拾い活動では、「ご苦労様」「ありがとうね」等地域の方々から声をかけられることが多くなり、挨拶訓練と合わせ今後も続けていきたいと考えます。

②就労移行支援

個別訓練(パソコン、各種運転免許、読み書き・計算、金銭管理、清掃 等)、
 就職準備訓練(ビジネスマナー、履歴書等書類の書き方、面接練習、会社見学、
 ハローワーク活用 等)、
 作業訓練(部品の検査や組み立て、洗車作業、環境整備作業 等)、
 施設外訓練(企業実習、施設が支援や施設外就労の提供 等)、
 その他(研修会やイベントへの参加)

平成28年度はトータルで、企業実習10社（施設外就労2社・施設外支援8社）、一般企業就職者5名でした。企業実習について、施設外支援8社のうち就職を考えての実習は半数以上を占め、例年に比べ、就職者の多い年度になりました。それぞれの方の就職の経緯については様々ですが、一般求人より自ら選択した企業様に応募し就職された方、ハローワークにて相談を繰り返すことで、ハローワーク担当者様に覚えていただき、該当求人が出た途端に連絡をいただいて応募し就職された方、当法人初となる障がい者雇用が希望職種と合致して応募し就職された方、10月に行われた合同面接会を経て就職された方、ご本人の幼い頃からお付き合いがある社長様にお声掛けいただき就職された方など、どの方も定着に向け、順調に仕事に通うことが出来ている状況です。現在は定着支援の中で気づくことが出来た点を、事業所内でのビジネスマナー訓練でも活かしていき、サービス利用時と就職後にご本人たちが感じる”差”を、少しでも軽減できるよう努めています。

実習を数回経験したものの就職に繋がらなかった方もおり、不安や焦りを訴えることもありました。都度、ご本人の葛藤にじっくり耳を傾ける時間を設けていますが、相談員やナカポツ支援員、市町村担当者、ハローワーク担当者などと横の連携をとることで提案できたことも多く、チームで支援にあたる大切さを実感しました。

③就労継続支援B型

精密部品加工作業 印刷物発送仕分け作業 紙器加工 野草等計量梱包作業
 バリ取り作業 資料や印刷物、看板の作成作業 リサイクル品の収集と処理作業
 調理作業(弁当、総菜、菓子等) 農作業 縫製作業 ビーズアクセサリ作成
 施設外就労 施設外支援 うどんカフェや企業での就労及び実習 販売作業
 環境整備作業 模擬店等出店
 地域交流活動 地域清掃活動 体力作り 健康診断 研修会・講演会参加
 創作活動 四季の行事体験 時事学習 イベント参加

・作業班

平成28年度工賃収入は、イベント出店数の更なる増加や新しい施設外就労先の開拓、授産品の開発製造等に積極的に取り組み一定の成果を上げたものの、利用者さんの増加やサービス変更、作業数の増加に伴う人員確保に対応することができず売り上げが減少し、目標工賃を達成することはできませんでした。内職受託事業の売上減等、時代の移り変わりに伴って仕方のない面もあるとはいえ、売り上げの見込める事業に注力しきれず、利用者さんたちへの申し訳なさと感じています。

利用者さんの健康状態に関しては、日々の聞き取りを継続して行い、概ね元気に1年過ごすことができましたが、不幸にも一名亡くなられ、利用者さんたちの休日やプライベートの状況把握が重い課題として残りました。

・厨房班

平成28年度は、主任職員さんの結婚、出産により1月から産休取得などがあり、人数的にはかなり厳しいものがありました。9月から1名の調理員さんが増えたり、ベテラン職員さんと流れをマスターしている利用者さんと、他部署からの応援で、注文数の多い日などはてんやわんやしましたが、何とか対応することができました。

また、毎朝の体調管理と衛生管理が徹底してでき習慣化できたことはとてもいいことでした。

・お菓子班

新しくお菓子工房を設けました。今ある商品の向上と新しい商品の開発をしながら、一人一人のできる作業を増やしていけるように取り組んできました。

体にやさしいお菓子をたくさんのお客様に提供できるように考え、大学やイベントでの販売に力を入れました。昨年よりも売り上げが伸びているのは利用者みなさんも励みになっているようです。H29年度は新たなメンバーも加わりますのでより一層の拡大を目指していきます。

・ありんどう

夏場に新メニューのかき氷とところてんを始めるとお客様も喜んでくださいました。利用者さんの元気な挨拶にリピーターのお客様もおり成果となっております。メインのメニューの新商品の開発には及びませんでした。H29年度は挑戦していきたいと思っております。

④その他

・定例職員会議

毎月15日(休日の場合は前日の平日)に開催

・支援計画

個別支援計画に係るケース会議、説明並びに同意の面談の開催(随時)
 計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席(随時)
 事業所参観の実施

・職員研修会

計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席(随時)
 事業所参観の実施、虐待防止法、総合支援法、サービス管理責任者、相談支援員、防災、工賃向上、地域福祉、福祉施設初任者、障害特性、ピアカウンセリング SST 他

・実習・体験受入れ

ふじざくら支援学校・やまびこ支援学校・相談支援員の紹介者
 山梨県立大学、昭和大学、白梅学園大学、鎌倉女子短期大学
 富士北稜高校他

・イベント開催・参加

ありんこフリーマーケット広場、ありんこ祭り、新年互礼会
 くるみ祭り、ヨハネ祭、pal-pal祭、けやき園桜祭り、浅間神社桜祭り
 富士ふれあいの村祭り、大明見夏祭り、火祭りロードレース
 市民夏祭り、あんずの森祭、看護学校学園祭、昭和大学寮祭
 西桂福祉健康祭り、忍野村福祉健康祭り、障害者芸術文化祭
 ふじみサロンいきいき祭り、麦の穂展、麦の穂交流会、富士山マーケット
 郡内地域生活支援事業所協議会交流会、太陽の集い、赤い屋根のお祭り
 農業祭り、富楽時祭り他

月	日	曜	主な活動内容
4	1	金	新年度開始式 就B)バルトジャパン打ち合わせ
	2	土	厨)食堂厨房工事開始(～4/14)
	8	金	B)(株)オクムラ作業委託打ち合わせ
	9	土	就B)けやき園さくらまつり出店
	11	月	富士山マーケット説明会へ職員出席
	13	水	生就)お花見(河口湖畔・富士ビューホテル)
	14	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	16	土	B厨)新倉浅間桜まつり出店
	18	月	厨)外注弁当再開
	19	火	就)山梨県知的障害者支援協会スタッフ会議へ職員出席 生)麦の穂会議(於)pal-pal)
	22	金	生)個別調理訓練(玉ねぎのスープ煮)
	23	土	生)看護学校春和祭出店 障害者フライングディスク大会郡内大会参加(パインズパーク)
	24	日	B)第5回富士山マーケット出店 障害者スポーツ大会参加(水泳)
	28	木	ありんこフリーマーケット広場前日準備
	29	金	ありんこフリーマーケット広場開催
5	5	木	開所日(障害者スポーツ大会【陸上・フライングディスク】参加、ベネック・ありんどう出勤等)
	9	月	麦の穂展示会搬入(山梨中央銀行吉田支店 ～5/31)
	10	火	就)山梨県知的障害者支援協会スタッフ会議へ職員出席
	11	水	生B)パソコン教室(富楽時主催 5/11、18、25、6/1 計4回) 4名参加 生就)料理教室
	13	金	生)野菜(トマト・きゅうり・バジル)の種まき
	14	土	山梨県地域生活事業所協議会研修会へ職員出席
	15	日	就B)赤い屋根チューリップ祭り出店(於青少年センター)
	17	火	山梨県障害福祉従事者基礎研修へ職員2名出席 麦の穂会議(スイートベリー勝山)
	19	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席 生)個別調理訓練(出し巻卵)
	20	金	生)陶芸教室
	21	土	「発達障害児(者)の生きづらさや生活のしづらさ～支援者としてできること～」研修へ職員出席
	23	月	医療法人聖仁会にて1名実習開始(～5/27)
	25	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売
	29	日	障害者スポーツ大会参加(ボウリング) B)春季レンゲツツジ下草刈り作業4名参加
	30	月	ふじざくら支援学校より実習生3名受け入れ(就・生・B各1名 ～6/10)
	31	火	(株)アールビーズ様へ仕出し弁当提供(5/31 夕90食、6/10 30食 6/11 190食) 生)麦の穂展示会搬出
6	1	水	就B)長坂にて販売用梅収穫 B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売 生)茶道教室
	3	金	山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会・初任者研修へ職員出席 富士吉田消防署立会いの下、防災訓練(火災を想定)
	4	土	山梨県測量設計業組合チャリティーグラウンドゴルフ大会へ参加・昼食出し
	6	月	麦の穂会議(於けやき園) 山梨学院短期大学保育実習1名受け入れ(～6/14)
	7	火	就)山梨県知的障害者支援協会スタッフ会議へ職員出席
	8	水	生)料理教室(よもぎ蒸しパン・マシュマロ入りフルーツヨーグルト) B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売
			厨)食品従事者健康診断(検便)受診(結果:全員良性)
	9	木	アネモネ会議へ職員出席

月	日	曜	主な活動内容	
6	10	金	B就)井出邸環境整備作業開始	
	13	月	B)富士山マーケット事前説明会へ職員出席 厨)食品衛生協会のお弁当の製品検査を受ける(結果:特に問題なし) ふれあいの村まつり実行委員会「精神障害者の地域生活支援」研修へ職員2名参加	
	14	火	やまびこ支援学校第1期実習受け入れ(就・B各1名 ~6/24)	
	15	水	就)富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席 B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売	
	17	金	事業所日帰り研修旅行(地引網体験・バーベキュー・アニマルキングダム)	
	19	日	障害者援護の会ありんこ定期総会と研修会参加	
	22	水	生)個別調理訓練(サラダ蕎麦) 就)オルゴールの森美術館会社見学(利用者2名・職員1名) B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売	
	23	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席(富士プレミアムリゾート見学) 富士吉田市民夏まつり運営会議職員出席	
	24	金	生)陶芸教室 就)きずな参加	
	26	日	生)ふじみサロン夏祭り出店参加 B)富士山マーケット出店 富士吉田太陽のつどい参加・仕出し弁当70食提供(於富士吉田市立看護学校)	
	27	月	都留文科大学介護体験実習2名受け入れ(~7/1) B)長坂にて販売用梅収穫	
	28	火	麦の穂交流会参加(於忍野村村民体育館)	
	29	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売	
	7	2	土	就生)pal-pal祭出店参加
		4	月	都留文科大学介護体験実習3名受け入れ(~7/8) 山梨県サービス管理責任者現任研修へ職員参加(7/4・7/7) 就)障害福祉サービス事業所ありんこ厨房にて1名実習(~7/15)
		6	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売
		11	月	西桂ボランティア13名見学 麦の穂会議(於ヨハネ支援センター 交流会反省、防災について)
		12	火	就)山梨県知的障害者支援協会スタッフ会議へ職員出席 生)調理訓練(バジルのクラッカー)
		13	水	B)工賃向上対策会議 B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売
		14	木	生)外出訓練(大石公園・ハーブフェスティバル) 就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
		15	金	法人合同職員研修会「福祉従事者の基本姿勢」
		16	土	富士吉田市労働者福祉協会 鱒のつかみどりバーベキュー大会参加 知的障害者支援協会職員交流会参加(バレーボール) 厨)(株)アールビーズ様へ仕出し弁当提供(87食)
		20	水	生)絵手紙教室(うちわ) 就)富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席
		21	木	明見中学校環境美化委員様よりプランター植えの花3個寄贈受ける
		22	金	生)個別調理訓練(冷やしたぬきうどん)
		23	土	B)富士吉田市民夏まつり出店参加 厨)富士吉田市役所様へ仕出し弁当提供(夕・132食)
		27	水	就)富士吉田市地域福祉交流センター見学
	28	木	B)工賃向上対策会議	
	29	金	ふじざくら支援学校高等部1年保護者8名見学	
8	1	月	就)障害福祉サービス事業所ありんこ厨房にて1名実習	
	2	火	平成28年度就業支援基礎研修職員参加(8/3・8/10 全3回)	

月	日	曜	主な活動内容	
8	3	水	知的障害者支援協会研修会「自閉症への理解と支援」職員参加 富士河口湖高校学生ボランティア1名受け入れ 就) 河口湖郵便局1名面接	
	7	日	夏を楽しむ企画 生) あんずまつり出店参加	
	9	火	就) 山梨県知的障害者支援協会スタッフ会議へ職員出席	
	14	日	大明見夏祭り出店参加	
	17	水	山梨県立大学ソーシャルワーク現場実習受け入れ2名 (～9/20) 就)(株)クリーンリースにて1名実習(～8/23) 就) 富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席	
	18	木	山梨学院短期大学保育実習1名受け入れ(～8/26) 就) 河口湖郵便局にて1名実習 就) 富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席	
	19	金	就) きずな参加	
	22	月	都留文科大学介護体験実習2名受け入れ(～8/26) 就) 体験実習1名受け入れ(～8/26)	
	24	水	生) 個別調理訓練(ホットケーキ)	
	25	木	福祉・介護従事者キャリアパス研修『管理職スキルとマネジメント研修』職員参加 就) クリーンリース1名面接	
	28	日	火祭りロードレース出店参加	
	29	月	麦の穂会議(於くるみ福祉作業所 麦の穂展看板作り) 就) 障害福祉サービス事業所ありんこ1名面接	
	9	1	木	就) 障害福祉サービス事業所ありんこ厨房調理員として1名就職 就)(株)クリーンリース1名就職 就) 河口湖郵便局事務補助として1名就職 山梨県障害者文化展(～9/5) 利用者1名知事賞受賞 表彰式(9/13)出席
		2	金	B) 山梨県芸術文化祭出店(～9/3)
		3	土	障害者文化展鑑賞会参加
		5	月	昭和大学体験実習第Ⅰ期5名受け入れ(～9/7) 日本大学介護体験実習1名受け入れ(～9/9)
		8	木	昭和大学体験実習第Ⅱ期5名受け入れ(～9/12) 就B) 富士東部地区障害者就職面接会第1回研修会参加(ビジネスマナー)
		9	金	平成28年度山梨県相談支援従事者初任者研修職員参加(9/9、12) 厚生労働大臣政務官堀内詔子衆議院議員来所
		10	土	ふれあいの村祭り出店参加 富士五湖ダルク合同フォーラム(富士吉田市民会館) ありんどうにてうどんを提供
		12	月	富士山マーケット説明会へ職員出席 麦の穂会議(於富士吉田地域福祉交流センター 映画「命のことづけ」鑑賞会)
		13	火	昭和大学体験実習第Ⅲ期5名受け入れ(～9/15) 山梨県障害者文化展表彰式利用者1名出席 山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会職員出席
		15	木	生) 調理訓練(月見団子)
		17	土	昭和大学実習報告会へ職員出席
		19	月	富士北麓交流会出店参加・手をつなぐ育成会セミナー参加
		21	水	富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席
		25	日	ヨハネ祭出店参加 B) 第3回富士山マーケット出店参加
		26	月	ふじざくら支援学校より実習生受け入れ(就2名～10/7 B9/27～29 2名・10/4～6 2名) 都留文科大学介護体験実習2名受け入れ(～10/30)
		30	木	防災訓練(地震を想定)
10		3	月	麦の穂展(山梨中央銀行吉田支店 10/4～31)搬入準備 就) フジマウンテンプレミアムリゾートにて1名実習(～10/14)

月	日	曜	主な活動内容
10	5	水	生B)パソコン教室(富楽時主催 10/5、12、19、26 計4回) 3名参加 B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売 生)茶道教室
	7	金	生)陶芸教室
	10	月	B)富楽時まつり出店参加
	11	火	富士北稜高校交流学习① 受け入れ7名
	12	水	生)料理教室(さつまいもとかぼちゃのディップ、抹茶オーレ) B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売
	13	木	就B)富士東部地区障害者就職面接会第2回研修会参加(先輩の話) 厨)日本火山学会事務局様へ仕出し弁当提供(10/13 76食、10/14 126食) 生)調理訓練(月見団子)
	15	土	ありんこまつり前日準備
	16	日	ありんこまつり
	18	火	富士北稜高校交流学习② 受け入れ7名 山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会職員出席
	19	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売
	20	木	B)全国障害者スポーツ大会岩手大会へ利用者1名出場(ボウリング～10/26)
	21	金	山梨県知的障害者支援協会交流文化祭出店参加
	22	土	福祉施設職員交流会アネモネ 交流会・懇親会へ参加
	23	日	就)農業まつり出店参加
	24	月	帝京科学大学介護体験実習1名受け入れ 麦の穂会議(けやき園グループホーム白糸見学)
	25	火	富士北稜高校交流学习③ 受け入れ7名
	26	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売 生)個別調理訓練(卵サンド)
	27	木	富士・東部地域障害者就職面接会
	30	日	B)西桂福祉健康まつり
	31	月	生)麦の穂展示会搬出
11	1	火	富士北稜高校交流学习④ 受け入れ7名
	2	水	生)茶道教室 就)シチズン時計マニファクチャリング(株)職員訪問
	4	金	B)昭和大学寮祭出店参加
	6	日	B)忍野福祉健康祭り出店参加 チャレンジドリーム祭り参加
	8	火	やまびこ支援学校より実習生受け入れ(就1名、B1名) 富士吉田市教育協議会特別支援教育協議会27名視察受け入れ 山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会職員出席
	9	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売 生)料理教室(さつまいもとりんごの春巻きパイ)
	10	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	14	月	都留文科大学介護体験実習生3名受け入れ(11/14～18) 生)麦の穂会議(於ありんこ 麦の穂展示会反省・脳トレ・リフレッシュ体操) 就)県と地域の合同協議会職員出席
	16	水	山梨県障害者地域生活支援事業所協議会県外視察研修職員参加(栃木県・社会福祉法人パステル) B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売 生)外出訓練(道の駅つる・リニア見学センター) 就)富士北麓自立支援協議会運営会議全体会へ職員出席
	18	金	生)陶芸教室
	22	火	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売
	23	水	総合リサイクルセンター黒田55周年記念パーティー職員2名出席
	25	金	生)個別調理訓練(カップケーキ)
	30	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売

月	日	曜	主な活動内容
12	2	金	生)クラフト教室
	7	水	利用者定期健康診断
	8	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会「事業主応援ワークショップ」へ職員出席
	9	金	生)絵手紙教室
	10	土	山梨フォーラム2016「山梨の共生社会のかたち」研修職員参加
	12	月	ふじざくら支援学校高等部2年生職場見学受け入れ 就)体験実習1名受け入れ(～12/15) 生)麦の穂会議(於富士桜作業所 相談支援専門員による講演)
	14	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売 生)個別調理訓練(そば寿司)
	15	木	生就)明見小学校金管バンド演奏会観賞
	16	金	テレビ山梨厚生文化事業団様よりクリスマスケーキの寄贈を受ける 事業所忘年会(於 美加佐)
	19	月	就)体験実習1名受け入れ(～12/22)
	21	水	就)富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席 生)調理訓練(かぼちゃのお焼き)
	22	木	B)クリスマス菓子引き渡し B)(株)ミナモト様より業務委託受け、工場内箱折り作業体験開始
	23	金	いずみの会主催ボウリング大会(都留ファミリーボール)
	27	火	ありんどう大掃除
	28	水	事業所大掃除 2016年仕事納め
	1	5	2017年仕事始め
	6	金	就)(株)土手影建設1名実習(～1/19)
	7	土	B)福祉ホール子育て支援センターオープニングイベント出店参加
	10	火	就)(株)クリーンリース1名実習(～1/17)
	11	水	生)料理教室
	12	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	16	月	(株)コメット3名実習(就1名・B2名 ～1/27) 麦の穂会議(於ハーバル工房 笛吹市防災訓練のDVD視聴)
	18	水	就)富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席
	20	金	生)陶芸教室
	23	月	就)(株)シチズンファインデバイス1名実習(～2/3)
	24	火	B)山梨県地域生活事業所協議会ボウリング大会参加
	26	木	ふじざくら支援学校公開研究会施設長出席・お菓子班販売 就)(株)土手影建設1名面接
	29	日	新年互礼会
	30	月	ふじざくら支援学校1年生6名・保護者見学
2	1	水	(株)土手影建設1名就職 生)茶道教室
	2	木	山梨県就労支援事業所ネットワーク研修会職員2名参加
	6	月	就B)(株)富士急ビジネスサポート2名実習(～2/8)
	7	火	山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会職員出席
	8	水	白梅学園大学ソーシャルワーク現場実習生1名受け入れ(2年次実習 ～2/17) 生)料理教室(野菜スープ・チョコケーキ・大根ゆかり浅漬)
	9	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席 利用者さんの葬儀へ参列
	10	金	バレンタイン菓子引き渡し (株)ミナモト箱折り作業施設外就労開始(月・水・金) 生)個別調理訓練(ホットドッグ)
	12	日	初午祭 利用者・職員代表参加 障害特性セミナー「精神疾患をもつ利用者さんとの関わり方について」職員参加

月	日	曜	主な活動内容
2	13	月	就)(株)キューピー富士吉田工場見学 都留文科大学介護体験実習2名受け入れ(～2/17)
	14	火	B)愛染まつり出店参加
	15	水	就)富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席
	16	木	山梨県障害者虐待防止・権利擁護実践研修職員参加
	17	金	生)陶芸教室
	20	月	麦の穂会議(於スイートベリーKATUYAMA 昔の遊びをしよう)
	24	金	地域リハビリテーション研修「高次脳機能障害とは～支援と理解の方法について～」職員参加
	27	月	生)デイサービスセンター愛1名実習(～3/3)
	3	水	就B)(株)富士急ビジネスサポート2名就職
	3	金	「ダルクのことを知ろう」研修職員参加
3			シチズン時計にてお菓子販売開始(毎月第1金曜日)
	6	月	就)(株)コメットにて1名実習(～3/10)
	7	火	山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会職員出席
	9	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	10	金	生)個別調理訓練(チョコレートケーキ)
			B)ホワイトデー菓子引き渡し
	11	土	共生社会について考える研修会「罪を犯した人たちの支援のあり方を考える」職員参加
	13	月	生)体験実習1名受け入れ
	14	火	就)富士北麓自立支援協議会運営会議へ職員出席
	15	水	就)平成28年度精神障害者社会適応訓練事業研修会へ職員参加
	23	木	B)第1回事業内容検討会議(テーマ:ありんどう)
			B厨)けやき園様食事会(ありんどうにて弁当提供)
	24	金	生)外出訓練(バス・電車を使ってありんどうへ)
	27	月	麦の穂会議(於けやき園 1年間の反省)
	29	水	就労継続支援A型事業所開所式「扉」開所式職員2名出席
	31	金	生)調理訓練(ちらし寿司・ポテトサラダ・お吸い物)

グループホームそよかぜ
平成28年度事業報告書

〔平成28年4月1日～平成29年3月31日〕

1. 利用者 定員 女性7名(年度末現員 7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

支給決定市町村 富士吉田市(3名) 都留市(1名) 清瀬市(1名)
上野原市(2名)

2. 職員

サービス管理責任者兼世話人(常勤) 1名
世話人(非常勤) 2名 (他事業所と兼務) 1名

3. サービス内容

- (1)食事の提供(朝食 夕食)
- (2)日常生活の支援
 - ・日中活動の支援
 - ・掃除、選択、買い物等への支援及び働きかけ
 - ・悩みや不安などの相談事への助言等の支援
- (3)医療及び健康管理の支援
- (4)金銭管理の援助
- (5)障害者総合支援法に係わる申請の援助
- (6)行政手続きの代行

4. 活動報告

月／日	曜	活 動 内 容
4／ 4	月	利用者誕生会
1 5	金	世話人会議
1 8	月	夜桜見学 [忠霊塔・スターボックス]
1 9	火	第3回ありんこフリーマーケット会議
2 1	木	GH見学(大森孝男さん・文子さん)
3 0	土	ありんこフリーマーケット出店
5／13	金	世話人会議
1 7	火	役員会(サビ管出席)
2 6	木	セコム点検(バッテリー交換)
6／ 2	木	GH見学(めばえ職員2名)
8	水	運営委員会(サビ管出席)
1 0	金	理事会(サビ管出席)
1 5	水	世話人会議
2 0	月	アポロ設備点検
2 2	水	「生命のことづけ」ビデオ集会に利用者3名・世話人1名参加 [富楽時]
2 3	木	利用者誕生会
2 4	金	ありんこグループ職員歓迎会
2 7	月	運営委員会(サビ管出席)

月／日	曜	活 動 内 容
7／6	水	運営委員会(サビ管出席)
7	木	利用者誕生会
8	金	期日前選挙投票
15	金	世話人会議
28	木	運営委員会(サビ管出席)
8／3	水	吉田ガス点検
7	日	セコム来所(通信エラー)
15	月	インターネット回線工事
17	水	世話人会議
21	日	曙町防災訓練に参加(利用者3名・世話人1名) [吉田高校]
24	水	運営委員会(サビ管出席)
25	木	第1回管理職スキルとマネジメント研修 サビ管出席 [山梨県地場産業センター]
26	金	渡辺マネージャー・県立大学実習生2名 GH見学・食事・火祭り
9／1	木	GH事務室に棚取り付け(渡辺吉正さん)
8	木	そよかぜバーベキュー
13	火	運営委員会(サビ管出席)
15	木	世話人会議
19	月	富士北麓地域交流会&手をつなぐ育成セミナーシンポジウムに参加(世話人2名)[聖ヨハネ学園]
26	火	GH利用者義姉通夜参列(世話人・利用者)
10／16	日	ありんこ祭り出店・参加
18	火	世話人会議
11／1	火	GH見学 富士吉田市役所福祉課・赤城さん
3	木	曙町文化展へ出品・見学
6	日	「徘徊ママリン87歳の夏」映画鑑賞 [市民会館]
8	火	GH見学 小・中特別学級先生・運営委員会(サビ管出席)
10	木	ありんこ職員食事2名
16	水	利用者誕生会
17	木	紅葉台ファミリー大沢路典さん葬儀参列・世話人会議
22	火	利用者誕生会
25	金	GH見学 くるみ作業所保護者
12／10	土	アポロ設備点検
14	水	利用者部屋大掃除
20	火	世話人会議
24	土	クリスマス会
28	水	利用者部屋大掃除・もちつき会・ありんこ職員忘年会
29	木	利用者誕生会
H29年		
1／12	木	防犯会議サビ管出席
17	火	世話人会議
19	木	消防立ち入り検査
25	水	セコム来所(通信エラー)
26	木	そよかぜ新年会 [やぶ]
29	日	ありんこ新年互礼会に参加
2／3	金	節分豆まき
8	水	白須久美子さん祖母告別式参列
9	木	三浦正人さん告別式参列

月／日	曜	活 動 内 容
2／16	木	世話人会議
21	火	運営委員会(サビ管出席)
3／ 5	日	そよかぜ1日行楽 [いちご狩り・イオンモール甲府昭和]
6	月	運営委員会(サビ管出席)
16	木	世話人会議
21	火	役員会議(サビ管出席)
28	火	虐待防止対策会議
29	水	1階廊下ドア直してもらう(新藤木工所)

5. まとめ

平成28年度は長い間、グループホームに勤務していた世話人が退職することになり、4月より入社した世話人に引き継ぎをして、8月から新体制になりました。また、サポありと兼務していた職員もいたので数ヶ月は勤務調整をするのに大変な時もありました。毎月開かれている世話人会議にありんこの理事・施設長も出席して下さるので情報の共有・情報交換ができました。

利用者さんの行動で近隣の方々に迷惑をかけてしまう件がありましたが、幸い近隣の方々の理解があり大きな問題にはなりません。作業所時代からのお付き合いの中での事だと思い、とても感謝しきれない気持ちでいっぱいになりました。この件を通して改めて住み慣れた地域との信頼関係の大切さを学びました。また本人は関係者間(ありんこ・保護者・サポあり・医療機関)の素早い対応があり、今は落ち着いています。

約半年間、職探しをしている利用者に対して仕事に対する意識・士気を高められるよう、どのように対処したらよいか関係者一同模索中です。

相談支援事業 平成28年度事業報告書

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

<指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業>

1. 事業の内容

- (1) 指定障害福祉サービス等の利用を希望する者から指定計画相談支援の利用の申込み
- (2) 相談支援専門員は、利用者についてのアセスメントに基づき、当該地域における福祉サービス等の提供体制を勘案し、サービス等利用計画案を作成します。当該アセスメントにより把握された解決すべき課題等に対応するための最も適切な福祉サービス等の組合せについて検討を行い、を受けたときは、当該利用申込者の障害の特性に応じた適切な配慮をしつつ、運営規程の概要、従業員の勤務体制、その他利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該指定計画相談支援の提供の開始について利用申込者の同意を得た上で支援を実施します。
- (3) 相談支援専門員は、サービス等利用計画案を作成した際には、当該サービス等利用計画案の内容について、利用者に対して説明し同意を得た上で、当該サービス等利用計画案を利用者に交付します。
- (4) 相談支援専門員は、支給決定が行われた後に、指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行うとともに、サービス等利用計画の原案に位置づけた福祉サービス事業等の担当者を招集して行うサービス担当者会議の開催等により、専門的な見地からの意見を踏まえた上で、サービス等利用計画を作成します。
- (5) 相談支援専門員は、前項のサービス等利用計画を作成した際には、当該サービス等利用計画の内容について、利用者に対して説明し同意を得た上で、当該サービス等利用計画を利用者及び担当者に交付します。
- (6) 相談支援専門員は、サービス等利用計画の作成後、サービス等利用計画の実施状況の把握「モニタリング」を行い、必要に応じてサービス等利用計画の変更、福祉サービス事業者等との連絡調整その他の便宜の提供を行います。
- (7) 相談支援専門員は、モニタリングに当たっては、利用者及びその家族、福祉サービス事業者等との連絡を継続的に行うこととし、支給決定時に市町村が定めたモニタリング期間ごとに、利用者の居宅等を訪問し面接を行うほか、その結果を記録します。

2. 職員の職種、員数及び職務内容

(1) 管理者 1名（非常勤）

管理者は、従業員の管理、指定計画相談支援及び指定障害児相談支援の利用の申し込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行うとともに、事業の実施に関し、法令等において規定されている事項について、事業所の従業者に対し遵守させるために必要な指揮命令を行います。

(2) 相談支援専門員 3名（専任1名、常勤兼務1名、非常勤兼務1名）

- ・平成28年7月まで 相談支援専門員 2名（専任1名、常勤兼務1名）
- ・平成28年7月から 育児休暇者復職の為
相談支援専門員 3名（専任1名、常勤兼務1名、非常勤兼務1名）

3. 通常の事業の実施地域

富士北麓6市町村全域（富士吉田市 富士河口湖町 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村）
その他、近隣市町村。

4. 主たる対象者

身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者 障がい児 難病患者など

5. 利用者実績

市町村名	利用者数	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
富士吉田市	82	計画 相談	計画	2	2	3	2	3	7	7	7	3	0	2	19	57	
			モニタリング	10	11	9	2	16	18	8	8	5	10	4	7	108	
			計画・モニタ	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富士河口湖町	29	計画 相談	計画	5	1	1	9	1	2	0	2	1	2	1	0	25	
			モニタリング	1	4	3	2	4	4	5	1	10	5	3	3	45	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西桂町	7	計画 相談	計画	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	
			モニタリング	2	1	1	1	0	2	1	0	0	2	1	1	12	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
忍野村	10	計画 相談	計画	0	0	0	2	0	0	0	2	0	2	0	1	7	
			モニタリング	0	0	2	0	2	3	1	1	4	2	0	2	17	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
道志村	1	計画 相談	計画	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
			モニタリング	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
都留市	9	計画 相談	計画	0	1	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	6	
			モニタリング	4	1	3	1	1	1	2	0	1	0	1	0	15	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上野原市	2	計画 相談	計画	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
			モニタリング	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	計画 相談	計画	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
		障害 児 相談	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	141			26	22	22	21	28	40	26	24	25	26	12	33	305	305

6. 総括

●平成28年度も、継続して”質の良い計画相談”として始動しました。

○相談支援専門員のそれぞれの経験値や専門性等々の理由により、計画の内容にムラが見られ始めたため、11月より1ヶ月に1度程度を目安に”勉強会”と称して、質の向上を目的として事例検討や、困っているケースについて助言等を行うことでお互いに切磋琢磨する機会を設けました。

○富士北麓圏域で相談支援事業所が平成28年4月より、業務休止に伴い当事業所で大半の計画相談を引き継ぐ形となった事や、育児休暇より復職した相談員の専門性が活かされ新規作成依頼も絶えず来ているような状況でした。就職などで、サービス利用を終える利用者さんがいる一方、新規計画作成があったため、総合的に一年間を通して相談件数は増加の一途をたどりました。また、北麓圏域に平成29年4月開所予定の事業所が3ヶ所あったため、それに伴う新規作成を致しました。

○平成28年度末、計画相談の件数は141件です。

●年度末には、触法障害者のサービス利用も増えているため、富士東部圏域マネージャーのお力添えの元、健康科学大学鷲野准教授をお招きして、”地域共生社会について考える勉強会”を主催しました。実践的な支援の方法を知りたかったとのご指摘もあったが、触法の方がどう法的な手続きが進んでいくかや司法から福祉につながる部分の入り口支援の重要性を知ることができました。

●自立支援協議会（相談部会）

相談部会には、常時、専任計画相談員1名が出席し、研修や学習会などの機会には他2名も出席する形をとってきました。（部会員としては、常に在籍）

基幹相談支援センターの設置に関してガイドラインに沿って進捗状況を確認し、併せて、児童の計画作成や職員のメンタルヘルスの研修などを中心に話し合われました。市町村担当者や事業所サービス管理責任者との計画作成の研修については、当事業所のケースを提供しました。上記、事業所での勉強会でその後の確認を行い、そのままにせず話し合うことがで

●富士・東部相談支援ネットワーク

継続してネットワーク会議を2ヶ月に1度行っています。富士吉田市消費者センターの方をお呼びしてマイナンバー制度が施行され、扱い方などを知るために勉強会を行いました。実際に相談が寄せられている詐欺の手法などを聞くことができました。2月には、山梨ダルクの佐々木代表からのお話を伺い、ダルクの組織、当事者の体験談を通して、今後の触法者の支援の在り方を考えさせられる機会になりました。

7. 活動報告

月	日	曜日	活 動 内 容
4	1	金	新年度挨拶（ありんこにて）
	21	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	28	木	富士・東部相談支援ネットワーク 参加
	29	金	ありんこフリーマーケット広場 参加
5	18	水	自立支援協議会（全体会） 参加
	19	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
6	16	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	30	木	富士東部相談支援ネットワーク会議 参加
7	21	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
8	24	水	発達障害者支援検討会（合同庁舎） 参加
	25	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	31	水	富士東部相談支援ネットワーク会議 参加
9	6	火	相談部会の提供事例の事業所内にて事前打ち合わせ
	15	木	自立支援協議会（相談部会）行政との勉強会 参加
	19	月	全国手をつなぐ育成会研修 参加
10	20	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	28	金	富士ふれあいセンターにて研修 参加
11	17	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	24	木	勉強会（相談部会で提供したケースの振り返り）
	28	月	勉強会（個人情報について）

月	日	曜日	活 動 内 容
12	15	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	21	水	富士東部相談支援ネットワーク会議 参加
	18	木	権利擁護を考える座談会 参加
	27	火	勉強会 （共通の事例に基づいて計画作成と全国相談支援専門員協会の評価表に基づいて評価）
1	15	日	全国相談支援専門員協会研修大会 参加
	27	金	自立支援協議会（相談部会） 参加
2	16	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	23	木	相談支援従事者現認サポート研修 参加
3	1	金	富士東部相談支援ネットワーク会議 参加
	7	火	健康科学大学鷲野准教授と打ち合わせ
	11	土	地域共生社会を考える勉強会 主催
	16	木	自立支援協議会（相談部会） 参加
	27	月	4月開所予定事業所 内覧会参加
	30	木	勉強会（新年度に向けて）
	31	金	勉強会（新年度に向けて）

相談支援事業
平成28年度事業報告書

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

<基本相談(6市町村委託相談)事業>

1. 利用者実績

<相談支援を利用している障害者の人数等>

	①身体障害			②重心障害			③知的障害			④精神障害			⑤発達障害		
	実人員	重複	回数	実人員	重複	回数	実人員	重複	回数	実人員	重複	回数	実人員	重複	回数
障害者	14	1	84	1	0	1	22	0	147	32	0	339	1	0	12
障害児	0	0	0	1	0	29	1	0	2	0	0	0	0	0	0
計	14	1	84	2	0	30	23	0	149	32	0	339	1	0	12
	⑥高次脳機能			⑦その他			⑧合計								
	実人員	重複	回数	実人員	重複	回数	実人員	重複	回数						
障害者	1	0	4	0	0	0	71	1	587						
障害児	0	0	0	0	0	0	2	0	31						
計	1	0	4	0	0	0	73	1	618						

*「重複」は実人員の再掲

①身体障害の内訳

a視覚	b聴覚	c肢体	d内部	e音声	f脳原	g免疫	hその他
実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員
6	2	6	0	0	0	0	0

<支援方法>

	回数
A 訪問	96
B 来所相談	50
C 同行	125
D 電話相談	161
E 電子メール	17
F 個別支援会議	112
G 関係機関(コーディネート)	55
H その他	2
計	618

<支援内容>

	件数	ピアカウンセラー
ア 福祉サービスの利用等に関する支援	153	0
イ 障害や症状の理解に関する支援	34	0
ウ 健康・医療に関する支援	163	0
エ 不安の解消・情緒安定に関する支援	98	0
オ 保育・教育に関する支援	10	0
カ 家族関係・人間関係に関する支援	87	0
キ 家計・経済に関する支援	36	0
ク 生活技術に関する支援	64	0
ケ 就労に関する支援	45	0
コ 社会参加・余暇活動に関する支援	14	0
サ 権利擁護に関する支援	7	0
シ その他	108	0
計	819	0

2. まとめ

主な相談ケース

- 男性(身体=知的) 障がい者基礎年金のなかなかできなかったが、最後にもう一度申請したいというご本人からの希望でもあり、医師・大月年金事務所に相談し取得できました。
- 女性(精神) 今住んでいるところから他圏域で生活したいと相談があり、担当者会議を繰り返し行うことで、ご本人の意思が固いことを理解し、現在は他圏域の基幹相談支援センター、就業・生活支援センターにつながり落ち着いた生活を送ることが出来ている。
- 男性、女性(共に身体) 基準該当でデイサービスの入浴支援を受けていたが、突然利用日3日から2日に変更になってしまった。お二人とも褥瘡があるため患部を清潔にしたいために利用していた。各地域の社協以外でも基準該当で受け入れてくれる事業所が増えることを期待している。

課題

- 居宅介護事業所に同行援護、家事援助をお願いしていたが、人材不足と障がい者に対しての支援方法がわからないため支援が出来ないと事業所から説明を受ける。
- 地域の居宅介護事業所が1ヶ所撤退することになった、障害者からの需要も増えてきた半面事業所が少ないことはこの地域の社会資源の課題となっている。
- 委託相談の終了とともに病院・市町村の手続きに相談員の車に乗って同行支援をしていた、今後このような場合の支援が地域課題となる。福祉有償運送・福祉タクシーを利用したい障がい者もいるがなかなか予約が出来ない状態である。制度を利用するように言われるが、制度が充実していない富士北麓地域でどのように生活を送るのが良いか考えていく必要がある。

3. 活動報告

月/日		活 動 内 容
4/20	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
4/21	水	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
4/28	木	富士・東部相談支援ネットワーク会議出席
4/29	金	ありんこフリーマーケット
5/18	水	富士北麓圏域自立支援協議会全体会出席
5/19	木	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
6/2	木	富士吉田市社会福祉協議会主催「太陽の集い」参加
6/12	日	富士吉田市視覚障がい者協会総会出席
6/15	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
6/16	木	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
6/23	木	相談支援現任研修参加
6/26	日	富士吉田社協主催「第1回 太陽の集い」参加
6/30	木	富士・東部相談支援ネットワーク会議出席
7/2	土	パルパル祭参加
7/8	金	相談支援現任研修参加
7/14	木	相談支援現任研修参加
7/20	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
7/21	木	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
8/17	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
8/25	木	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
8/31	水	富士・東部相談支援ネットワーク会議出席
9/15	木	富士北麓自立支援協議会相談部会出席
9/19	月	ひつじの会主催フォーラム参加
9/21	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
9/26	月	地域づくりプロジェクト会議出席
10/16	日	ありんこ祭り
10/19	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
10/27	木	県委託相談連絡会出席
10/28	金	富士ふれあいセンター主催「どんなに重い障害研修会」参加
11/16	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
11/17	木	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
11/21	月	精神障害地域移行研修会出席

月／日		活 動 内 容
11／27	日	ソーシャルワーク研修会参加
12／8	木	障害者主張大会参加
12／13	火	マイナンバー研修参加
12／21	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
H29		
1／18	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
1／19	木	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
1／27	金	富士ふれあいセンター主催「地域療育投資×研修会」参加
1／29	日	ありんこ互例会
2／14	火	精神障害地域移行研修会出席
2／15	水	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
2／16	木	富士北麓圏域自立支援協議会相談部会出席
2／23	木	相談支援現任者サポート研修参加
3／11	土	ありんこ相談員主催「共生社会について考える研修会」参加
3／14	火	富士北麓圏域自立支援協議会運営会議出席
3／19	日	コミュニケーションワークショップ研修会参加

障がい者就業・生活支援センターありす
平成28年度事業報告書
〔平成28年4月1日～平成29年3月31日〕

＜雇用安定等事業＞

1. 就業支援の実施

(1)相談・支援の実施

主任就業支援員1名、就業支援員1名を配置し以下の業務を実施

- 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。
- 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。

障害者に対する相談支援		事業主に対する助言		職場実習のあっせん	
対象者数	310人	対象事業所数	118社	件数	60件
相談件数	3,603件	相談件数	883件		
就職件数	50件				

主な相談支援内容

- ・準備訓練に関する相談・支援
- ・求職に関する相談・支援
- ・職場定着に関する相談・支援
- ・職業生活に関する相談・支援

(2)在職者交流会の実施

○在職者の交流参加希望者に対して交流会を実施する。交流会では、グループワーク等で職場の悩みを話し合う場を提供し、不応課題の早期把握、改善を図り、職場定着を促進する。(年9回)

(3)就業支援担当者の研修等

○障害者就業・生活支援センター就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(就業支援担当者1名)

【障害者就業・生活支援センター南関東ブロック経験交流会議】

日時:平成28年11月11日

場所:千葉県、ホテルポートプラザちばロイヤル

2. 関係機関との連絡会議の開催

○業務の円滑かつ有効な実施に資するため、他の就業・生活支援センター及び、ハローワーク、就労移行支援事業所、特別支援学校、自治体、福祉事務所等の関係機関との連絡会議を開催し、これら機関との連携を図る。(年16回)

＜生活支援事業＞

1. 設置場所

＜所在地＞ 山梨県富士吉田市新西原3-4-20

＜名称＞ 障がい者就業・生活支援センターありす

2. 担当職員の設置状況

生活支援員(常勤)1名

生活支援員(法人就労移行事業兼務)1名

3. 生活支援の実施

(1)地域内の障害者の状況把握及び登録

活動内容	実施期間	実施方法	備考
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	2,208件

(2)登録された障害者に対する支援

活動内容	実施期間	実施方法	備考
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	2, 208件
ケース会議の開催または出席	随時	ケース会議を実施。または出席。	155件
同行支援	随時	各種手続きやハローワーク等への同行支援。	210件

4. 関係機関との連絡調整

○就業・生活支援センター合同会議	3ヶ月に1回開催
○富士・東部自立支援協議会	1ヶ月に1回開催
○連絡調整会議	随時開催

<活動報告>

月／日	活 動 内 容
H28 4/14	第11回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H28 4/20	第1回障がい者就業・生活支援センター合同連絡会議
H28 4/20	第10回富士北麓自立支援協議会 運営会議
H28 5/19	第12回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H28 6/23	第1回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H28 7/14	第2回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H28 8/18	第3回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H28 9/8	第4回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H28 9/28	第1回就業・生活支援センター連絡会議
H28 10/13	第5回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H28 10/26	第3回障がい者就業・生活支援センター合同連絡会議
H28 12/8	第7回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H29 1/12	第8回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H29 2/9	第9回富士北麓自立支援協議会 就労部会
H29 3/9	第10回富士北麓自立支援協議会 就労部会

<総括>

平成23年4月より山梨県富士北麓・東部圏域にて事業を開始し、6年が経ちました。新規の登録者の多くが精神障がい者で、改めて精神障がい者の支援の重要性や難しさを感じております。継続的に就労ができるように当法人でも新年度より訪問型職場適応援助者事業を行うことになりました

県境に居住されている方は、交通の利便性や求人の量などを考えると、甲府に出るよりも高尾や八王子などに出る方が多くなってきています。県を越えての支援が増えることが今後予想されます。

新年度においては精神障がいの研修や勉強会に積極的に参加し、スタッフ個々のスキルアップを目指します。

在職者交流会は年間を9回開催しました。学習に力を入れようと富士吉田市消費生活センターの方を講師に招き、お金の使い方や携帯電話の使い方、悪徳商法などについて学びました。土日休みでない方のために平日の昼間の開催を行いました。

1、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援 ・ 4 月に入ると市町村や福祉サービスの職員の異動などから不安定になる方もいるので、市町村や相談支援事業所から情報を頂きながら連携したが、困難なケースになるまでには至らなかった。 ・ 委託相談の範疇で対応できていた。
② 市町村相談支援体制の評価 ・ けやき園の相談支援事業所が 4 月から休止することになり、今月からありんこの相談支援事業所が引き継ぐケースが多く、入口の部分で圏域マネージャーも関わりながら、ご本人やご家族が困らないように助言を行った。
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等） ・ 富士北麓と東部の福祉サービス事業所一覧表を作成し、4 月 1 日づけで現員数と空き状況を確認し、情報提供（相談支援事業所や行政等へ）を実施した。 4/18（月）：県と保護者との意見交換会（都留市合同庁舎内）⇒上野原市の保護者でグループを結成し、「夢ラボ」として活動しているが、東部圏域で福祉サービスが少ないことや、やまびこ支援学校や既存の福祉サービスへの対応などの改善を求めて話し合いを行った。（新井副知事、県障害福祉課、県教育委員会出席）
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等 4/14（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会 PM 富士東部保健所 4/20（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議 PM 富士東部保健所 4/21（木）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会 AM 富士東部保健所 4/26（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会 PM7～富士聖ヨハネ学園
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等 4/26（火）：富士サポートセンター開所式に参列 AM センターにて ⇒アルコールや薬物依存の当事者を主な対象とした生活訓練事業所として開設した。（宿泊型も併設）。富士北麓に依存症の方が多かったために開設したが、開設するまでには、市町村の理解不足や、地域の偏見などがあったため、自立支援協議会等に参加して頂き、後方支援をする中で理解がなされ開設できることになった。今後、富士北麓の社会資源として存続できるように応援していく。
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務 市町村の身体・知的の相談員は、委託相談が開始されたことから、身体・相談員の委託を廃止した市町村がある。特に富士吉田市の知的障害者の相談員は、独自で研修会を開催し、県の相談員連絡会などのリーダー的な団体になっているので、富士吉田市の相談員（ありんこの小俣壱岐さん。宮下くにあさんなどと時々ではあるが、情報交換をしたりしている（協議会の日などに当てて・・・）
【評価及び課題】 ・ 上野原市の「夢らぼ」の保護者と県の意見交換会は、副知事も出席され、課題について話し合いを行った。誤まった認識については理解を求め、確認する事案については、すぐに県が確認することで終了したが、保護者への情報等が不足していることもあったので、東部自立支援協会への参加を呼びかけ、委員となって頂けた。
2、圏域内の体制作り
① 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等 ・ 地域移行が進んでいない
② 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
③ 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
【評価及び課題】 4 月になったばかりなので、圏域単位での体制づくりまでの活動はなかった。
3、 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等 4/11（月）：山梨県障害福祉課へ圏域マネージャー4 名であいさつ回り

② 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など） 4/19（火）：県自立支援協議会重度心身障害児者部会 PM 県立大学 4/26（火）：県自立支援協議会相談支援・人材育成部会 PM 県福祉プラザ
③ 地域自立支援協議会の協議事項報告
④ 相談支援専門員協会の運営支援
⑤ 指定地域相談支援体制の再構築 ・富士北麓の指定一般相談支援事業所が休止するため、富士北麓では4か所あった指定一般相談支援事業所が2か所に減ってしまった。精神科病院がない地域の中では、ケースが降りてこないことや、制度にならない地域移行の相談支援はあっても、報酬がないので、結局、その人員を他の事業へ配置させている。
⑥ 圏域マネージャー連絡会議
【評価及び課題】 今年度から県自立支援協議会の医療的ケアプロジェクトが、重度心身障害児者部会となった。地域の自立支援協議会に依頼してアンケートを実施したが、内容を査収し整合性を精査する必要が出ており、なかなか公的にはお示しできていない。医療を必要とする方の課題は、すぐに解決できないため、部会に組織化し、継続していくことになった。（協力を頂いた地域自立支援協議会には結果を報告することが課題）
4、 その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者・家族への支援 4/14（木）：県障害福祉課主催の福祉従事者基礎研修会の当事者の講師依頼の件で、講師となる当事者の勤務先に連絡を取り、内諾を得て、県から依頼文を提出して頂けることになる。 4/22（金）：父母の会の研修会について宮下くにあさんとの打ち合わせ（肢体不自由児者連合会） 4/23（土）：平成28年度「ひつじ」定期総会参加（PM1:30～富士ふれあいセンター）講師
④ 研修会への参加
4/22（金）：高齢者・障害者に関する勉強会（法テラス山梨地方協議会） PM6時～山梨県防災新館1階にて
⑦ その他（法人内活動支援など）
4/19（火）：社会福祉法人ありんこの理事長、理事、その他管理職で県障害福祉課、人材産業課へ挨拶まわりに、圏域マネージャーとして同行し、異動された職員と名刺交換を行なった。 4/20（水）：西桂町町民会議・防災会議に出席（PM7:30～きずな未来館） 4/22（金）：全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会・関東甲信越肢体不自由児者父母の会連合会全国大会へ参加する宮下くにあ会長の資料作成
<評価及び課題> 障害者の地域生活を考える保護者連絡会の総会に出席したが、以前程参加する保護者はなく、役員や高齢の保護者が中心である。今後、この会の活動の存続を検討する必要性が出てくると思う。若い保護者がどうしたら参加できるのかが課題。

2、市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
<p>富士吉田市：5/11（水）支援学校のケース会議に出席。重度心身障害児の発作が多く、学校の送迎では対応できず、時間が合わないという個別には送迎できない。また、キーパーソンの祖母が骨折し入院中。ヘルパーの時間を多くし、放課後デイサービスや委託相談に関わりながら、観察していくことになる。</p> <p>・アドバンテージの身体訓練を終了するキンジズ男性の地域移行に向けて支援を開始。結局、家に帰りたいという本人のニーズは家族が受け入れられず（身体障害のため）、入所の方で検討された。</p>
② 市町村相談支援体制の評価
<p>市町村の異動があったが、引継ぎがうまく行われ、基幹相談支援センターについても、継続して検討されることになった。</p> <p>富士北麓自立協議会の事務局が富士吉田市になったことから、市が中心となり、協議会の運営や基幹相談支援センターの設置に向けて動き出している。</p> <p>委託相談支援事業所が 1 か所減り、指定特定が 2 か所休止となったことから、新規の計画相談が進まない状況になってきている。</p>
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
<p>けやき園の計画相談が休止となることから、けやき園理事長と面談、計画が継続できるように検討し、ありんこの相談支援事業所が協力できる体制づくりを進めている。</p>
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
<p>5/16（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議 PM1:30～（富士・東部保健所）</p> <p>5/19（木）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会（AM10:00～12:00 富士・東部保健所）</p> <p>5/24（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会（PM7:00～9:00 富士河口湖町役場）</p> <p>5/24（火）：東部自立支援協議会地域生活部会 AM10:00～12:00（上野原市役所）</p>
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
<p>【評価及び課題】</p> <p>5 月になって異動してきた市町村の職員とも顔が分かり合える関係ができた。</p> <p>富士北麓では、28 年度の協議会事務局が富士吉田市なので、基幹相談支援センターの設置や研修会を相談しながら検討することができた。やはり、人口の多い市が音頭を取り体制整備を行なっていくことが必要とを感じる。</p> <p>東部では、都留市の以前福祉課のリーダーだった方が、補佐として異動してきたため、基幹相談支援センター設置に向けて検討できるように相談していく。</p>
2、圏域内の体制作り
④ 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
<p>5/11（水）：AM 富士北麓と東部の療育等コーディネーターとマネージャー会議</p> <p>※圏域内の重度心身障害児者の課題や、研修についての話し合い（富士ふれあいセンターにて）</p> <p>5/9（木）：PM2:00～ピアサポーター会議（富士・東部保健所）</p>
⑤ 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
⑥ 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
<p>【評価及び課題】</p> <p>東部（上野原市）の保護者から、重度心身障害児者の課題が出たことや、県自立支援協議会でも実施した重度心身障害児者のアンケートから、親亡きあとの課題も含めて、重度心身障害児者関係の研修会の必要性が出てきた。圏域内の 2 名の療育等コーディネーターで合同会議を開催し、富士と東部で連携して研修会を企画。富士宮市のインクルふじの施設長に講師を依頼することになった。</p>
4、県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
<p>5/17（火）：山梨県福祉従事者基礎研修会 山梨市役所</p> <p>5/23（月）：山梨県相談支援現任者研修会 & 県自立支援協議会の打ち合わせ</p>

⑧ 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
5/10（火）：山梨県自立支援協議会相談支援・人材育成部会 AM9:30～山梨県福祉プラザ1階
5/10（火）：山梨県自立支援協議会地域移行部会 PM3:00～5:30
5/30（火）：山梨県自立支援協議会全体会 県立大学にて（副座長として司会進行）
⑨ 地域自立支援協議会の協議事項報告
特になし
⑩ 相談支援専門員協会の運営支援
特になし
⑪ 指定地域相談支援体制の再構築
・富士北麓の事業所が1か所減り2か所になった。東部では、1か所だけとなった。病院などからケースがあがって来ず、結局、委託相談支援でまかなっている現状がある。保健所の事業と連携して、地域移行を推進する具体的なアクションを検討したい。
⑫ 圏域マネージャー連絡会議
・県自立支援協議会の全体会の打ち合わせ時に合わせて実施。
⑬ その他の県との関係会議等
【評価及び課題】 今年度から福祉従事者となって0年から5年未満の方を対象に、基礎研修会を2会場で開催。アンケートの結果の評価も高く、当事者が講師となって登場したことは、本人たちにとっても、社会参加や自己実現につながったと思う。本来なら各法人や事業所においてOJT研修会を実施するべきだが、できていない現状から、ある年数は県がリードして研修会を開催し、人材育成に貢献する必要がある。
5、 その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者支援
・富士北麓の知的障害者の方を、福祉従事者現任研修会に講師として支援した。
④ 研修会への参加
5/22（日）：山梨県社会福祉士会総会出席 5/25～27日：平成28年度相談支援従事者指導者養成研修会（2泊3日）主催：厚生労働省 国立障害者リハビリテーションセンターにて
⑭ その他（法人内活動支援など）
5/6（金）：富士北麓高校 介護職員初任者研修講師「介護に関するところのしくみの基礎的理解」 毎年、講師となり富士北麓高校へ伺っていることから、ありんこのフリーマーケットやありんこ祭りにボランティアで参加する学生が増えている。
<評価及び課題> 国の相談支援従事者研修会に参加させて頂いた。特に、参考になったのは、滋賀県の相談支援の研修会で自立支援協議会の模擬ロールプレイをして、受講者に協議会とは何か、どのようなメンバーで開催しているのかを「見える化」していた。早速、山梨県の初任者研修で取り入れたいと思う。

3、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
富士吉田市：アドバンテージを利用中で利用期限が切れてしまうケース。本人は自宅へ帰りたいが家庭での受け入れが厳しく、入所を希望。しかし、本人が納得できないケースへ介入。本人のニーズとご家族の思いをすり合わせ、やっと入所施設の見学からはじめる事になった。
② 市町村相談支援体制の評価
けやきの家が相談支援事業所を休止しており、計画相談のケースの多くをありんこで引き継ぐことになったが、けやきの家から当事者や家族の方に説明をしていなかったため、受給者証の事業所変更もできていないことがあり、市町村も含めて再度、ていねいな引継ぎをお願いする。
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
6/15（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議 PM1:30～（富士・東部保健所）
6/24（金）：東部自立支援協議会地域生活部会 AM10:00～（上野原市役所）
6/29（水）：東部圏域自立支援協議会運営会議 PM1:30～（いきいき都留）
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
6/1（水）：東部自立支援協議会 第Ⅰ回基幹相談支援センタープロジェクト会議
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
【評価及び課題】
計画相談支援事業所の休止により、その事業所の計画 60 ケースの引継ぎが課題となった。しかし、休止の事業所が丁寧に当事者や家族への説明不足から、引き継ぐ事業所に迷惑をかけてしまう結果となった。もう少し、相談支援部会や行政との話し合いが必要だったと反省する。
2、圏域内の体制作り
⑦ 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
⑧ 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
6/29（水）：上野原市三生会病院の医療ソーシャルワーカーさんたちと地域移行についての学習会
6/30（木）：相談支援ネットワーク スーパービジョン研修会）圏域 M 講師として参加
⑨ 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
6/17（金）：おおつき社会福祉士事務所ソーシャルを訪問。東部圏域の基幹相談支援センターについて話し合う。
【評価及び課題】
精神科病院三生会病院の医療ソーシャルワーカーさん達と地域移行について学習会を行い、制度としての地域移行、地域定着支援の在り方を講義した。今後、相談支援事業所と連携や地域移行を視野に入れて関わっていくことを確認し合う。
東部の基幹相談支援センターについては、個人の事業所でも人材として検討する案を市町村や事業所に打診する。
5、 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
6/7（火）：山梨県相談支援従事者現任者研修会の打ち合わせ（受講者グループ分けとファシリテーター選出）
6/10（金）：山梨県サービス管理責任者現任者研修ファシリテーターとの打ち合わせ AM 県福祉プラザ
6/23（木）：山梨県相談支援従事者初任者研修会 全体講義 1 日 ぴゅあ総合
⑫ 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
6/14（火）：山梨県自立支援協議会相談支援・人材育成部会 PM1:30～県立大学飯田キャンパス
⑬ 地域自立支援協議会の協議事項報告
⑭ 相談支援専門員協会の運営支援
⑮ 指定地域相談支援体制の再構築
⑯ 圏域マネージャー連絡会議

⑳ その他の県との関係会議等
6/15（水）障害者の芸術活動支援モデル事業 協力委員会参加 防災新館 402会議室 PM6:00～
【評価及び課題】 今年の山梨県主催の相談支援従事者現任者研修会等は、5月に国研修会に参加させて頂いたことを生かせるように、昨年と内容を変えて取り組みたい。研修の目的（パーツごと）や自立支援協議会を見える化すること、ファシリテーター研修を行う事などを検討していきたい。
6、 その他
① 事業所向けの研修会の開催
6/4（土）：都留市にあるチャレンジドリームの保護者会や職員への研修会へ講師として参加 「成年後見人と障害者差別解消法について」はなちゃんカフェにて 10:30～13:30
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者支援
6/16（木）：入所利用に向けて、きぼうの家、スカイコート勝沼を本人、母親、市役所、相談支援事業所で見学。
④ 研修会への参加
6/11（土）：グレスロード主催 ダルク研修会 PM1:00～ 中央市玉穂総合会館 6/22（水）：若者の生活困窮者の支援について 都留文科大学にて PM18:40～
21 その他（法人内活動支援など）
6/10（金）：社会福祉法人ありんこ理事会出席 27年度の山梨県相談支援体制整備事業説明（PM7:00～） 6/30（木）：健康科学大学2年生 ありんこ施設見学対応（施設長と一緒に） 6/19（日）：障害者援護の会ありんこ平成28年度定期総会へ参加
＜評価及び課題＞ グレスロード主催のダルクのシンポジウムは、中央市長や議長があいさつを行い、研修会に最後まで参加し、ダルクへの理解や地域住民に向けて、取り組むことを宣言していた。地域には高齢者や障害者だけではなく、アルコールや薬物依存等の方もいて、いろいろな方を受け入れていくというメッセージは、行政の姿勢が明確化され、内容も含めてとても良い研修だった。 富士吉田市にも富士サポートセンターという生活訓練事業所ができたので、こちらの圏域でも、依存症の方への理解を進めたい。また、9月で開催される富士サポートセンター主催のフォーラムも盛況になるよう協力をしたい。

4、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
<p>都留市：計画相談において、本人のニーズと利用している福祉サービス事業所の支援にズレがあり、本人中心の支援になっていないケースの相談がある。計画相談の範疇を超え、本来事業所が支援すべきことを計画相談が関わっているため、計画と個別支援計画との違いを説明する等、スーパービジョンを実施。</p> <p>富士河口湖町：心神喪失の精神障害者の方で、実習から就労に内定が決まったものの、職場までの交通手段がない。バイクを購入したいが、生活保護担当者は生活保護受給者のため、購入できないとのこと。保健所野の PSW から生活保護担当者へ働きかけて頂き、やっとバイクが可能となった。</p> <p>富士吉田市：福祉サービス事業所への欠勤が多く、話を聴くと、事業所が作業で忙しく、対応してもらえないと本人からの相談あり。委託相談が定期的に関わり、少しだけ通所できる日が増えている。</p>
② 市町村相談支援体制の評価
<p>・富士北麓では、基幹相談支援センター設置に向けて、現在や過去委託相談を委託していた相談支援事業所へ、富士吉田市福祉課長、富士河口湖町福祉課長が社会福祉法人等へ出向き、基幹の説明やセンターの人材について相談している。</p>
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
<p>・東部圏域自立支援協議会の基幹相談支援センタープロジェクト会議に向けて資料を作成し、会議では県内の基幹相談支援センターの情報提供や社会資源の点検などの支援を実施した。</p>
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
<p>7/20（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議（PM：13:30～富士・東部保健所）</p> <p>7/21（木）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会（AM10:00～12:00 富士・東部保健所）</p> <p>7/26（火）：東部圏域自立支援協議会地域生活部会（AM10:00～12:00）上野原市役所</p> <p>7/26（火）：富士北麓自立支援協議会運営会議地域部会（PM7:00～聖ヨハネ学園）</p>
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
<p>7/13（水）：東部自立支援協議会 第2回基幹相談支援センタープロジェクト会議</p>
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
<p>7/28（木）：西桂町身障福祉会総会出席 PM1:30～ 西桂町いきいき福祉センター</p>
【評価及び課題】
<p>富士北麓自立支援協議会相談支援部会では、地域定着の3ケースについて報告があり、精神障害者の地域移行や地域定着の支援の方法を検討した。その中で、この圏域において、事例検討会をする上において、ファシリテーターやスーパーバイズの研修会が必要との意見が多くあり、圏域Mとして検討したい。</p> <p>また、東部自立支援協議会地域生活部会でも、地域移行の研修会を実施し、富士・東部相談支援ネットワークの研修会として実施できるように相談していきたい。</p>
2、圏域内の体制作り
⑩ 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
<p>7/21（木）：山梨県精神障害者地域移行支援事業ピアサポーター会議 PM2:00～</p>
⑪ 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
<p>富士・東部相談支援ネットワーク会議において、富士北麓自立支援協議会相談支援部会と合同で市町村と相談支援事業所との学習会を開催。異動してきた市町村職員が計画相談の制度やしぐみを理解できていないことが多かったので開催してよかった（もっと市町村の参加が多いとよい）。</p>
⑫ 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
【評価及び課題】
<p>・精神障害者地域移行支援事業では、健康科学大学の学生に協力を頂き、精神障害者の方が退院後どのような生活をしているかという内容で、病院の患者さんに向けてのDVDが完成した。試写会を開催したが、支援者は登場せず、当事者が画面を占めていたことは、本人たちが主役のDVDで他圏域のDVDよりもよかった。今後、いろいろな場面でDVDを活用していきたい。（民生委員の研修会等）</p>

6. 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
7/4（月）：山梨県サービス管理責任者現任者研修会 全体講義（1日目）ぴゅあ総合 7/5（火）：山梨県サービス管理責任者現任者研修会 演習の打ち合わせ 7/7（木）：山梨県サービス管理責任者現任者研修会 グループワーク（2日目）ファシリテーター 7/8（金）：山梨県相談支援現任者研修会 グループワーク（1日目）ファシリテーター 7/14（木）：山梨県山梨県相談支援現任者研修会 グループワーク（2日目）ファシリテーター 7/19（火）：山梨県相談支援従事者初任者研修会打ち合わせ 防災新館 PM1:30～
22 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
7/8（金）：県自立支援協議会運営会議・施策推進会議へ提供する資料についての話し合い PM5:00～ぴゅあ総合にて（県研修会終了後）
23 地域自立支援協議会の協議事項報告
・富士北麓自立支援協議会から、提案のあった「介護マーク」について、県障害福祉課地域生活課長補佐に報告と提案をする。8月の県自立支援協議会にて提案をすることになる。
24 相談支援専門員協会の運営支援
25 指定地域相談支援体制の再構築
・保護観察所対象者の地域定着支援を圏域外の相談支援事業所をお願いしている。来年で定着の期間が終了するため、以降委託相談支援事業所につなげるため、富士北麓で地域相談をしている事業所を検討した。
26 圏域マネージャー連絡会議
27 その他の県との関係会議等
【評価及び課題】 ・長年の提案だったサービス管理責任者現任者研修会をやっと実施することができた。法定研修ではないが、県外の殆どの都道府県で実施しているため山梨県でも課題であった。しかし、予算がとれないとのことで、講師を県立大学の大塚先生（無報酬）、圏域マネージャーで担い、ファシリテーターは、県内の理解のある法人に依頼し、サービス管理責任者を派遣して頂く中で実施することができた。アンケートの結果も好評であり、継続してほしいとの回答もあったため、来年度は予算化をお願いしたい。
7. その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者支援
7/29（金）：9/19の手をつなぐ育成会のシンポジストとして参加するAさんの資料と一緒に作成
④ 研修会への参加
7/16（土）：山梨県社会福祉士会主催ソーシャルワーカーデイ参加（県立図書館） 7/30（土）～31（日）：主任相談支援専門員を見据えた、次世代の中核人材育成研修～理念と知識の定着を図るために～ 山梨県福祉プラザにて（圏域M必須研修）
28 その他（法人内活動支援など）
7/4（月）：西桂町介護保険事業に関する指定管理者選定委員会出席 PM7:30～ 7/13（水）：西桂町防災会議 PM7:30～ 7/22（金）：山梨県立大学 大学コンソーシアムやまなし主催の「山梨学」山梨県の障害者について講義 PM14:50～ 飯田キャンパスにて 7/25（月）：山梨県立大学 飯田キャンパス「ソーシャルワーカーって？」講義 PM1:00～15:00
<評価及び課題> ・山梨県立大学で、学生に向けた講義（山梨学）依頼を受け、講師として参加した。福祉職や看護職の未来の後輩たちに伝えたいソーシャルワークは、どの専門職としても共通しており、また、少しでも不足する人材育成への尽力になればと思う。

5、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
・マイナンバーの制度化により、その取扱いについてわからないという相談が多いとのことで、支援者が当事者に説明できるような研修会を検討した。
② 市町村相談支援体制の評価
・富士北麓では基幹相談支援センターPT を通じて、予算化の検討に入っている。
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
8/2（火）：基幹相談支援センター設置検討会（6 市町村課長参加）
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
8/17（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議（PM：13:30～富士・東部保健所）
8/18（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会（AM10:00～12:00 富士・東部保健所）
8/23（火）：富士北麓自立支援協議会運営会議地域部会（PM7:00～聖ヨハネ学園）
8/25（木）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会 AM 10:00～12:00 富士東部保健所
8/31（木）：東部自立支援協議会運営会議 PM 都留いきいきプラザ
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
【評価及び課題】 富士北麓では、基幹相談支援センター設置に向けて具体的に動き出している。東部では、基幹相談支援センター設置に向けて音頭をとる行政マンがおらず、圏域マネージャーとして、資料の作成をしたり、提案をしてもなかなか民間の力では進まない。市村のやる気と何よりも人材不足が大きい。
2、圏域内の体制作り
⑬ 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
・当事者からマイナンバーについてどうしたらよいかという相談が多く、カードを詐欺的な人に渡してしまったケースも出ているため、富士・東部相談支援ネットワークで研修会を実施。
⑭ 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
8/24（水）：富士東部発達支援連携会議出席 PM 富士東部保健所
⑮ 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
【評価及び課題】 ・毎年保健所が主催する発達障害の連携会議だが、継続性がなく、グループワークを実施しても、その場でおわり、単なる顔合わせだけになっている。保健所の県職員が地元の方ではないなら、市単位の保健師や教育委員会（支援学校も含む）と連携し、内容を検討し合同形成で検討したらどうかと思う。
7、 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
29 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
8/4（金）：県自立支援協議会重度心身障害児者部会 PM 県立大学にて
8/16（火）：県自立支援協議会就プロジェクト会議 PM 防災新館
8/23（火）：県自立支援協議会防災プロジェクト会議 山梨学院大学 竹端座長の研究室にて
8/26（金）：山梨県自立支援協議会全体会
30 地域自立支援協議会の協議事項報告
・富士北麓自立支援協議会から、「介護マーク」について、県自立支援協議会にて提案。 山梨県でマーク化するには、長寿社会課との協議が必要とのことで即答はなし。
31 相談支援専門員協会の運営支援
32 指定地域相談支援体制の再構築
・富士北麓の指定一般相談支援事業所に PSW がいるので、時折、ケースについて確認をしている。病院とのつながりはあるものの、地域移行の制度外のケースのため、退院後に福祉サービスを使うことや、家族調整が多い。東部の指定一般事業所においては、0 ケースとのこと。
33 圏域マネージャー連絡会議

34 その他の県との関係会議等
【評価及び課題】 県自立支援協議会には、2つのプロジェクトがあるものの、音頭を取る方が不在で、なかなか協議も進まず、県の施策に反映できることが難しい。特に、防災は障害福祉課だけの問題ではないので、幅が広く、市町村の防災計画などどう絡むのか課題。
8、 その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者支援
④ 研修会への参加
35 その他（法人内活動支援など）
8/12（金）：県立大学ソーシャルワーク実習生とのオリエンテーション
8/17（水）：県立大学ソーシャルワーク実習の巡回指導に参加
<評価及び課題> ・ありんこの県立大学の実習生2名とも、富士・東部圏域在住の学生なので、ぜひ、地元に戻って福祉従事者として活躍してほしいと思い、実習指導においても、いろいろな地域課題や、研修、事業所周りの実習を提供した。

6、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援 ・精神科病院の入退院を繰り返し、相談支援センターありんこに毎日電話がかかってくる K さんについて、相談支援員から相談を受ける。入退院を繰り返しているなら、実施主体の行政と協議し、地域移行の対象者として、地域相談としての相談体制を整備する提案をする。病院や行政と連携し、今後協議することになった。
② 市町村相談支援体制の評価
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等） 富士吉田市：身体障害者の入所できる事業所を探す、どこも定員一杯であり空きを待つ状況。身体障害者を受け入れらるグループホームもない。今後、高齢化や親亡きあとは、知的、精神障害の方も介護を必要とすることから、重度もや医ケアも含めた身体障害者の社会資源の不足が課題である。
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等 9/8（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会 13:30～16:00 富士東部保健所 ※ビジネスマナーの当事者研修会を開催。就労移行支援、就労継続支援 B 型、地域活動支援センターの利用者が受講し、グループワークを実施。 9/15（木）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会 9:00～12:00 富士東部保健所 ※計画相談の市町村との合同学習会 9/21（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議 13:30～13:30 PM 富士東部保健所 9/16（金）：東部圏域自立支援協議会日中活動部会 大月福祉センター 9/27（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会 PM7～9 聖ヨハネ学園 9/28（水）：東部圏域自立支援協議会運営会議 PM いきいきプラザ都留
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務 【評価及び課題】 富士北麓自立支援協議会就労部会では、当事者の就労に向けてのビジネスマナーの研修会（2 年目）を実施した。講師は部会長が担い、部会員がグループワークの司会を担いながら、本人たちの参加型で開催し、アンケートも好評であった。働くことへの意識づけになっている。
2、圏域内の体制作り
⑬ 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等 9/15（木）：山梨県精神障害者地域移行支援事業ピアサポーター会議 PM2:00～ いきいきプラザ都留
⑭ 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築 9/6（火）：9/15 の富士北麓自立支援協議会相談支援部会主催の計画相談の学習会の事例をありんこから出すことになり、その事例についてありんこの相談支援センター職員と事例検討会を実施、その際に、圏域マネージャーとしてスーパーバイスを行なう。
⑮ 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築 9/14（水）：ピアサポーターのグループ支援に同行。その活動内容を拝見。（回生堂病院にて）
【評価及び課題】 ピアサポーターのグループ支援（回生堂病院）に同行させて頂いた。回を重ねるごとに、医療職の前では言えなかった「退院したい」を言える方が出てきたとのこと。ピアサポーターの方が入院患者からの質問に丁寧に答え、宿題は次回までに調べてくるなど、相互にスキルアップしている。 また、看護師も生活保護の制度や福祉サービス事業所等、地域に社会資源があることを知らない方があり、驚きであった。（退院しても生活できないならかわいそうで地域へ出せないと言った看護師がいた） 医療職の中での福祉職（ワーカー）が、地域に向けて発信していき、地域の関係者が病院内にインリーチしていくことの必要性を感じた。

8. 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等）
9/9（金）：山梨県相談支援従事者初任者研修会（1日目） 自治会館
9/12（月）：山梨県相談支援従事者初任者研修会（2日目） 自治会館
9/14（水）：山梨県相談支援従事者初任者研修会の寸劇の練習 県立大学にて AM
9/16（金）：山梨県相談支援従事者初任者研修会の寸劇の練習 県立大学にて AM
9/23（金）：山梨県相談支援従事者初任者研修会（3日目）自治会館
9/31（月）：山梨県サービス管理責任者研修会 就労分野（1日目）オブザーバーで参加
36 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
9/5（月）：県自立支援協議会重度心身障害児・者部会 13:30～15:30 県立大学
9/13（火）：県自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 13:30～16:00 基幹相談支援センターほのか
10/25（火）：県自立支援協議会運営会議 15:00～16:40 基幹相談支援センターほのか
10/25（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会 PM7～9 聖ヨハネ学園
10/27（木）：基幹・委託相談支援事業所ネットワーク会議を開催 主催は県自立支援協議会相談支援・人材育成部会 PM1:30～16:30 昭和町総合総合会館
※各地域の基幹と委託操舵信事業所が一同に集まって、課題や取り組み状況等情報交換を実施。富士北麓からは、はなまし寮（藤本さん）、ありんこ（中澤、小俣）、富士吉田市（滝口さん、濱田M地さん）、富士河口湖町（渡辺さん、流石さん）、鳴沢村（渡辺さん）が出席。東部からは、大月社会福祉協議会（百瀬さん）。都留市（志村補佐）が出席。
37 地域自立支援協議会の協議事項報告
38 相談支援専門員協会の運営支援
39 指定地域相談支援体制の再構築
40 圏域マネージャー連絡会議
41 その他の県との関係会議等
9/2（金）：第3山梨県障害者芸術文化祭 参加（防災新館）
9/10（土）：富士ふれあい村まつり AM 参加 事業所まわり 当事者家族の話を聴くことができた。
【評価及課題】
山梨県では初めて、基幹・委託相談支援事業所ネットワーク会議を開催した。相談の種別が、基幹相談、委託相談、計画相談、地域相談と細分化され、その機能や役割が曖昧で、線引きができなことが課題となった。相談支援・人材育成部会の方で、簡単な役割分担表を作成し、話し合う材料を提供したが、実際、どこまでが計画相談が担うのかは、ケースバイケースである。種別ごとの相談支援に関わる相談員と関係機関との連携が必要である。
9. その他
① 事業所向けの研修会の開催
9/30（金）：スイートベリーの職員向け研修会講師 テーマは「障害者総合支援法と3年後の見直しについて」
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
9/19（月・祝）：山梨県手をつなぐ育成会セミナー 講師として参加 富士聖ヨハネ学園において
③ 当事者支援
9/4（日）：障害者の地域生活を考える保護者連絡会“ひつじ”のバーベキュー大会に出席 ※ありんこの実習生（県立大学3年）も参加し、保護者の思いを聞いたり、当事者と関わる事ができた）
④ 研修会への参加
9/10（土）：グレスロード主催富士サポートセンター 富士吉田ダルク研修会参加
42 その他（法人内活動支援など）
9/8（木）：県立大学ソーシャルワーク現場実習の巡回指導に参加
<評価及び課題>
9月はイベントや県、地域の研修会などが多くあった。特に手をつなぐ育成会のセミナーでは、全国的な講師（又村あおいさん、田中正博さん等）3名とジョイントでき、いろいろな情報を頂ける中で、私自身がスーパーバイズを受けることができた。 また、その中で知的障害者の当事者も講師となり自分のことを語れる機会となり、郡内でこのような大きな研修会ができたことに関係者へ感謝したい。 スイートベリーの職員研修会に講師として話をしたが、どの事業所も運営や人材不足に悩んでいる。就労部会だけでなく、生活介護事業所も参加できるような事業所部会が必要と感じた。

7、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
・ 10/6（火）富士吉田市のケースにて、アドバンテージ訪問 AM10～ ※以前、富士吉田市市内の生活介護事業所を利用していた筋ジストロフィー症の男性の支援（継続支援）。アドバンテージの身体訓練（宿泊型）を利用し、2 年が経過したため。次の生活場所を探すことになり、圏域を超えるため、市からの要請にて会議に出席している。計画相談も関わっているが、本人ニーズが引き出せない。本人は 2 年間アドバンテージで頑張れば家に帰れると思っていたので、一度、2 年間頑張ったことをしっかりと評価し、退院した形をとり、他の施設を見学するなかで、自立に向けて本人が選べるような支援をするように助言。
② 市町村相談支援体制の評価
29 年度の富士北麓基幹相談支援センター設置に向けて、市町村が圏域の相談支援事業所を訪問し、相談支援専門員の発掘を行っている。自立支援協議会の基幹相談支援センターからの提案・提言書内容とのすり合わせなども行っている。
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
10/6（木）：東部圏域自立支援協議会全体会 道志村 13:30～14:30 やまゆりセンター 10/13（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会 13:30～16:00 富士東部保健所 ※ビジネスマナーの当事者研修会を開催。就労移行支援、就労継続支援 B 型、地域活動支援センターの利用者が受講し、グループワークを実施。 10/19（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議 13:30～13:30 富士東部保健所 10/20（木）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会 10:00～12:00 10/25（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会 PM 7～9 聖ヨハネ学園
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
【評価及び課題】 富士北麓自立支援協議会運営会議では、基幹相談支援センターに向けての市町村の進捗状況を報告して頂いている。大きな課題としては、設置場所、予算、人材に絞られてきている。本来なら、精神保健福祉士や、社会福祉士などの国家資格を持った職員を派遣して欲しいと思うが、福祉サービス事業所の職員で取得している人材は少ない。この圏域でも人材育成が課題である。 ・ 東部圏域自立支援協議会の全体会が開催されたが、会長の挨拶の時間も含めて 1 時間で終了。地域の課題が検討されず、部会の報告だけになっている。相談支援の実績も半期ごとに報告をした方がよいと昨年提案したが今回も報告なし。相談支援から見える課題が抽出されないと協議会も活性化されない。
2、圏域内の体制作り
⑱ 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
・ 富士・東部地域移行支援事業のピアサポーターが、民生委員の定例会に参加。
⑳ 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
9/27（木）：県立あゆみの家訪問。富士ふれあいセンターと富士北麓自立支援協議会相談支援部会との協賛の研修会を有野さんに講師を依頼し、その打ち合わせを実施。
21 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
【評価及び課題】 自所属先ではあるが、計画相談と委託相談の質の向上と人材育成を含めて、毎月相談部署勉強会を開催することになった。OJT にも近い内容であり、今後、ありんこ職員全体や圏域全体で研修会を開催したいと思っている。富士ふれあいセンターの療育等コーディネーターと連携し、スキルアップ研修会を検討している。

9. 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等）
10/3（月）：山梨県サービス管理責任者現任者研修会 打ち合わせ 防災新館402 10/4（火）：山梨県相談支援従事者初任者研修会（4日目） 山梨市役所 講師 10/7（金）：山梨県相談支援従事者初任者研修会（5日目） 山梨市役所 講師 10/28（金）：山梨県サービス管理責任者研修会 全体講義 講師 1日 ぴゅあ総合 10/31（月）：山梨県サービス管理責任者研修会 就労分野（1日目）オブザーバーで参加 10/31（月）：山梨県サービス管理責任者生活介護分野ファイシリテーター打ち合わせ <u>PM6～</u>
43 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
10/6（木）：県自立支援協議会権利擁護部会 座談会（差別解消法）の開催 ※東部圏域にて開催 14:40～16:40 道志村やまゆりセンターにて 10/11（火）：県自立支援協議会重度心身障害児・者部会 13:30～15:30 県立大学 10/11（火）：県自立支援協議会 就労プロジェクト会議 15:30～16:30 県立大学 10/25（火）：県自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 13:30～15:00 基幹相談支援センターほのか 10/25（火）：県自立支援協議会運営会議 15:00～16:40 基幹相談支援センターほのか 10/25（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会 PM7～9 聖ヨハネ学園 10/27（木）：基幹・委託相談支援事業所ネットワーク会議を開催 主催は県自立支援協議会相談支援・人材育成部会 PM1:30～16:30 昭和町総合総合会館 ※各地域の基幹と委託操舵信事業所が一同に集まって、課題や取り組み状等情報交換を実施。富士北麓からは、はなまし寮（藤本さん）、ありんこ（中澤、小俣）、富士吉田市（滝口さん、濱田M地さん）、富士河口湖町（渡辺さん、流石さん）、鳴沢村（渡辺さん）が出席。東部からは、大月社会福祉協議会（百瀬さん）。都留市（志村補佐）が出席。
44 地域自立支援協議会の協議事項報告
富士北麓自立支援協議会から提案のあった“介護マークについて”県へ報告したが、県としても長寿社会課との協議も必要との回答であった。その後、富士吉田市内で健康長寿課と連携し作成することになった。
45 相談支援専門員協会の運営支援
10/16（日）：都道府県相談支援専門員協会の代表者会議に山梨県代表で出席（国立オリンピックセンター）
46 指定地域相談支援体制の再構築
47 圏域マネージャー連絡会議
※今年度は、県の部会や県協議会の打ち合わせ、相談支援従事者やサービス管理責任者の研修に追われ、圏域マネージャー4名が頻繁にあっても、圏域マネージャー連絡会が開催できず、ネット上の連携で終わっている。
48 その他の県との関係会議等
【評価及び課題】 11月14日に予定されている県と地域の合同自立支援協議会の内容が未だ進まず、県協議会の委員（圏域マネージャーや座長も含む）が構想している内容と、県障害福祉課の提案にズレがあったり、重度心身障害児・者のアンケートの提出についても県からストップがかかっている。 県と地域との温度差も感じ、日々多忙な市町村や地域協議会の方々が合同自立支援協議会へ多く参加して頂くには、開催案内を速く通知して欲しい旨を伝えているが、未だ次第も作成されていない。県の協議会の在り方にマネージャーとして、不安と市町村への申し訳なさを感じている。
10. その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
10/12（水）：ピアサポーター活動 ※西桂町民生・児童委員の定例会において、富士・東部のピアサポートさんの活動報告やライフストーリーを聴く研修会が開催された。 10/30（日）：西桂町福祉健康まつりに参加（個人参加）
③ 当事者支援
④ 研修会への参加
10/17（月）：全国基幹相談支援センター大会へ出席（国立オリンピックセンターにて）

<p>49 その他（法人内活動支援など）</p> <p>10/5（木）：山梨県社会福祉士会の富士・東部圏域学習会参加 PM7～9（自己研鑽として）</p> <p>10/9（日）：山梨県三身連市町村議員懇親会&意見交換会へ参加 山梨県福祉プラザ</p> <p><評価及び課題></p> <p>今月は、基幹相談支援センターの全国大会に参加させて頂いた。県としての自立支援協議会や地域自立支援協議会の設置率や開催数等は、全国でも上位であることがわかり、また、サービス等利用計画の達成率も全国平均を上回っていることが分かった。また、基幹相談支援センターの設置率も、29年度富士北麓と山梨市が設置予定なので、全国平均 25%に対して山梨県は設置率 80%となる。</p> <p>しかし、精神科病院や入所施設からの地域移行が、進まず全国的にもワーストである。精神障害者への理解が不足していることを改めて感じ、精神科病院の PSW や、保健所、相談支援事業所と連携しながら、29年度の強化課題としたい。</p> <p>ピアサポーターの活動も精神科病院だけではなく、大学や民生委員の研修会など、幅広く活動できるように支援を継続していく。</p>
--

8、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
・ 保護観察処分が終了し生活保護受給中の精神障害のある男性。A 福祉サービス事業所に障害者雇用で就労したが、その後は落ち着いて生活ができています。11 月 24 日の雪が降った時にはバイクで通勤することが困難であったが、電車とバスで通勤したと、男性の母親から連絡があった。将来的には、職場の近くのアパートへの引っ越しも検討していく。
② 市町村相談支援体制の評価
・ 今月の富士北麓自立支援協議会の全体会において、29 年度に富士北麓圏域の基幹相談支援センターが開設することに決まったことの報告があった。場所は、富士吉田市役所 1 階となる。
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
<p>・ サービス等利用計画の達成率が富士北麓圏域で低いため、市町村に未計画の対象者について、確認をお願いし、忍野村（72%・県内でワースト 1）の対象者については、圏域マネージャーが個別に事業所に相談し、村から依頼をすることで 5 名程作成できることになった。</p> <p>・ 29 年度に、一般社団法人みどり就労継続支援 B 型定員 20 名「福祉の実たけのこ」が開所予定。</p> <p>・ 29 年度に、富士東部圏域では、初の就労継続支援 A 型を株式会社コメットが運営を開始予定。</p> <p>11/17（木）：東部地域の基幹相談支援センタープロジェクト会議に出席。</p> <p>（3 市ごとに基幹を設置することになり、このプロジェクトは解散となる。圏域マネージャーから基幹相談支援センターの全国大会の資料を提供する）</p>
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
11/16（水）：富士北麓自立支援協議会 全体会（PM：13:30～富士・東部保健所） 上半期の相談支援の実績・評価・専門部会の半期活動報告と下半期の計画等
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
11/15（火）：ぐんない若者サポートステーション訪問⇒就労継続支援 A 型の設置について相談を受ける。開所を希望している会社の方など数名で情報交換やマネージャーからも情報提供を実施した。
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
<p>【評価及び課題】</p> <p>富士北麓自立支援協議会相談支援部会では、今後地域移行について検討することになった。29 年度は、福祉サービス事業所を新たに設置する事業所が増える予定である。A 型の事業所から相談を受け、県障害福祉課を通じて、情報提供を実施した。開所する事業所と連携を図りながら利用が増えるように支援を行いたい。</p> <p>また、基幹相談支援センター設置については、富士北麓自立支援協議会全体会の際、事務局である富士吉田市の市長が自ら冒頭の挨拶の中で開所の報告があった。今後は、委託先の事業所や、人材探しが課題となる。</p> <p>東部圏域では、基幹相談支援センターの委託先を予定していた相談支援事業所から正式にお断りの話があり、圏域が広く、移動などの問題から、3 市がそれぞれに基幹相談支援センターを設置することになった。道志村は都留市に依頼する予定。</p>
2、圏域内の体制作り
22 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
11/17（木）：山梨県精神障害者地域移行支援事業ピアサポーター会議 PM2:00～ 富士東部保健所
23 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
11/24（木）：ありんこの相談支援センターにおいて、事例検討会を実施。スーパーバイザーとして参加する。
24 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
<p>【評価及び課題】</p> <p>2 か月に 1 回開催されているピアサポーター会議では、東部の精神科病院 2 か所から PSW が参加しており退院に向けてグループ支援から個別支援に進むように検討している。やっと、個別支援につながったケースもあるが、支援の途中で患者さんの不安が大きくなり、閉鎖病棟に移動となり、支援の難しさも痛感している。</p>

10. 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等）
11/7（月）：山梨県サービス管理責任者現任者研修会 就労分野（1日目）ぴゅあ総合
11/9（水）：山梨県サービス管理責任者研修会 身体訓練（1日目）サブ講師
11/11（金）：山梨県サービス管理責任者研修会 身体訓練（2日目）ファシリテーター
11/18（金）：山梨県サービス管理責任者研修会 児童分野 オブザーバーで参加
11/30（水）：山梨県サービス管理責任者研修会 地域生活分野（1日目）オブザーバーで参加
50 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
11/10（木）：県自立支援協議会 重度心身障害児・者部会 13:30～15:30 県立大学
11/10（木）：県自立支援協議会 就労プロジェクト会議 15:30～16:30 県立大学
11/14（月）：県と地域の合同自立支援協議会 県防災新館 13:30～17:00
今回は、地域自立支援協議会の委員と市町村の防災担当者も参加。富士北麓が全体約90名のうち、19名も参加し、出席率が一番高い地域であった。
51 地域自立支援協議会の協議事項報告
52 相談支援専門員協会の運営支援
53 指定地域相談支援体制の再構築
11/25（金）：山梨県地域生活定着支援センター研修会に参加・触法障害者の事例・司法や刑法に関わる関係機関からの報告など。
54 圏域マネージャー連絡会議
55 その他の県との関係会議等
11/8（火）：アート
【評価及び課題】
・長年の提案だったサービス管理責任者現任者研修会をやっと実施することができた。法定研修ではないが、県外の殆どの都道府県で実施しているため、山梨県でも課題であった。しかし、予算がとれないとのことで、講師を県立大学の大塚先生（無報酬）、圏域マネージャーで担い、ファシリテーターは、県内の理解のある法人に依頼し、サービス管理責任者を派遣して頂く中で実施することができた。アンケートの結果も好評であり、継続してほしいとの回答もあったため、来年度は予算化をお願いしたい。
11. その他
① 事業所向けの研修会の開催
11/16（水）：「成年後見制度と市民後見について」というテーマで、大月市地域包括支援センターの社会福祉士の方を講師に研修会を開催した。（富士北麓自立支援協議会の全体会の協議前に実施）
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
11/5（土）：富士聖ヨハネ学園主催の「普通に生きる」（富士市の社会福祉法人インクル・フジの利用者さん）のDVD上映会が開催。特に、富士・東部では医療的ケアや重度心身障害児・者のGHや通所、短期入所が少ないため、今後の検討課題（数年前からの課題ではあるが方策までには至っていない）。
③ 当事者支援
11/19（土）：山梨ダルク・吉田ダルクの感謝祭に出席（大月教会にて）
11/29（火）：山梨県ピアカウンセリングセミナーに参加する当事者支援 セミナーの参加当事者、ありんこから1名、富士吉田市地域交流センターから1名
④ 研修会への参加
56 その他（法人内活動支援など）
<評価及び課題>
・富士北麓圏域にアルコール依存や薬物依存の方を中心とした「生活訓練事業所 富士サポートセンター」が開設されてから、ダルクの研修会や当事者会に参加し、本人たちのナラティブを聴くことで、本人の思いや生きた方に共感できたり、行動についても理解することができた。 特にその支援は、「更生」ではなく「回復」であることを気づくことができ、1人1人と丁寧にに関わり、バイステックの7原則の1つである“非審判的な態度”の大切さも感じている。生活訓練から時間がかかっても就労へつながるように応援していきたいと思った。

9、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
<p>・富士河口湖町；統合失調症 61 歳の女性、生活保護受給。鳴沢村から富士河口湖町へ引っ越してきたがいろいろな不安や不満がある。年末年始時に、いろいろな機関がお休みになるため、何かあった時の連絡先としてありんこの相談支援センターに連絡があり、マネージャーが対応。3 時間の電話対応で安心され、富士河口湖町の福へも報告する。</p> <p>・富士河口湖町；統合失調症男性。職場で暴言などがあり退職、12 月初旬精神科病院へ任意入院したが、退院後もお金がなく、不安になり、ありんへ電話が頻繁にかかってくるため、就労関係はありすの三浦さん、生活の相談は支援センターヨハネの平賀さん、平賀さんが対応できない時には、渡邊マネージャーが対応することになる。特に女性の相談員へ性的な感情を持つことがあるため、マネージャーが対応する。</p>
② 市町村相談支援体制の評価
<p>・12 月の富士北麓自立支援協議会の運営会議にて、基幹相談支援センター設置の内容（職員採用について等）について、説明がある。正規職員 3 名の要件に対して、非常勤採用の枠を設けた方が働ける人材の枠が広がることを提案する。</p>
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
<p>・富士北麓：サービス等利用計画の達成率について、自立支援協議会では、未計画の対象者について、検証を実施。相談支援部会にて検討し、計画作成可能な事業所が対応することになる。</p> <p>・東部：サービス等利用計画の達成率が 100%になったが、市村が調査などの情報提供や計画を作りやすくするための支援をすることが要因となり、相談支援事業所が少ないにもかかわらず、100%達成することができた。</p>
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
<p>12/5（月）：小菅・丹波山村自立支援協議会全体会参加（県自立支援協議会権利擁護部会の座談会も兼ねる・総合支援法の 3 年後の見直しについて 渡邊マネージャーが講師となり説明）PM 小菅村役場にて</p> <p>12/8（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会 雇用主応援ワークショップ開催（富士・東部圏域で障害者雇用を実施、または今後採用を検討したい企業に集まって頂き、情報交換、障害の理解についてのミニ講義などを開催した）</p> <p>12/13（火）富士東部自立支援協議会地域部会 PM いきいきプラザ都留</p> <p>12/15（木）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会 AM 富士東部保健所</p> <p>12/19（月）：東部自立支援協議会運営会議 PM いきいきプラザ都留</p> <p>12/20（火）：富士北麓自立支援協議会地域支援部会 PM 7～9 富士聖ヨハネ学園</p> <p>12/21（木）：富士北麓自立支援協議会運営会議 PM 富士東部保健所</p>
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
<p>【評価及び課題】</p> <p>基幹相談支援センターが 29 年 4 月から開始されるが、予算はついたものも、法人などから派遣する人材がいらない。これまでのパート職だった委相相談員も家庭の事情や、他の仕事と兼務していることから、人材が不足している。相談支援はある程度の経験、知識、理念等がないと難しく、また、社会福祉士や精神保健福祉士などの国家資格も必要である。行政の尽力により基幹相談支援センターを構築しても、携わる民間の人材が不足していることが大きな課題となっている。</p> <p>東部圏域では、基幹相談支援センターについては、進展がないが、上野原市で保健センターを設置しており、人材があれば同じセンター内で基幹相談支援センターを開設したい意向がある。</p>
2、圏域内の体制作り
25 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
26 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
27 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
12/21（木）：富士・東部相談支援ネットワーク 地域移行の研修会 講師 石川氏（保健所 PAW）
<p>【評価及び課題】</p> <p>・相談支援ネットワークの中で、精神障害者の地域移行が進まない課題があがっている。富士と東部の両自立支援協議会には地域移行部会がなく、富士北麓には、相談支援部会があるが地域に精神科病院はなく、東部には相談部会はないが、精神科病院が 2 か所あり、圏域の特性により事情が分かれている。そこで、富士と東部という圏域単位での部会的な組織が必要だと感じている。</p>

1 1. 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
12/7（水）：山梨県サービス管理責任者現任者研修会 地域生活分野（1日目）ぴゅあ総合
57 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
12/15（木）：県自立支援協議会 重度心身障害児・者部会 13:30～15:30 県立大学
12/15（木）：県自立支援協議会 就労プロジェクト会議 15:30～16:30 県立大学
12/26（月）：県自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 PM1:30～ 基幹相談支援センター 穂のか
58 地域自立支援協議会の協議事項報告
県と地域の合同自立支援協議会のあとの県の協議会開催の日程が未だ予定されていないため、振り返りができていないが、富士北麓自立支援協議会では、今後、防災課の方との協議会を開催することを検討。
59 相談支援専門員協会の運営支援
60 指定地域相談支援体制の再構築
61 圏域マネージャー連絡会議
62 その他の県との関係会議等
【評価及び課題】
サービス管理責任者の分野ごとの研修が終わったが、毎年国のサービ管理責任者研修への参加者の人選が課題である。分野ごとで振り返りを終わるのではなく、分野の代表が集まって、県全体の人材育成をどうするのか、サービス管理責任者の研修をどうするのか等を話し合う場を設定して頂きたい。30年からは、現任のサービス管理責任者研修も始まるので、今からこれまでの研修を振り返りながら、体制づくりをしたいと思う。
1 2. その他
① 事業い所向けの研修会の開催
12/10（土）：山梨フォーラム参加（9:00～17:40）笛吹市石和ホテル石庭
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者支援
12/10（土）：障害者の地域生活を考える会“ひつじ”の定例会に参加。今回は、重度心身障害児・者の保護者中心に集まって頂きNHK記者からの取材も受ける。PM7～9 富士ヨハネ学園
12/18（日）：西桂町身障福祉会クリスマス会参加（ボランティアとして）
④ 研修会への参加
12/3（土）：PMジョブコーチ実践フォーラム参加（山梨県立大学講堂）
63 その他（法人内活動支援など）
12/2（金）：健康科学大学4年生女性の1日ありんこ体験実習の受入れ（就職も兼ねての体験）
12/27（火）：相談支援センターありんこ学習会 PMサポートセンターありんこ
<評価及び課題>
・県全体でも、富士・東部でも重度心身障害児・者の課題が大きくなっている。特に、親の高齢化や親亡きあとの当事者の生活支援をどうするのが問われている。しかし、国や県、行政が何とかしてくれると思っている保護者も多い。官民協働での社会資源づくりの意識を持って頂けるように、働きかけていきたいと思う。

10、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援 <p>・富士河口湖町：統合失調症 61 歳の女性。お正月に熱を出し、民生委員に風邪薬を持ってきてもらったがなくなってしまうので、届けてほしいとの電話。町へ報告し、ありんこの相談員につなぎ家庭訪問を実施。</p> <p>・富士河口湖町：統合失調症男性。毎日、1 日 3 回相談支援事業所に電話があり。性的な話などもあるので、圏域マネージャーが対応。本人の借金やその取り立てのこと、服薬、就労のことなど支援者で確認する必要があるため、ケア会議（1/26 午後）を実施。本人と、支援センターヨハネの平賀さん、ありすの三浦さん、渡邊マネージャーで情報確認をする。お互いの情報が異なっていることもあり、車の処分とローンの返済、借金の返却方法と車の処分、生活困窮などについて支援方法を決める。</p> <p>都留市：就労継続支援 B 型利用中の女性から、自事業所の仲間とのトラブルがあり、職員が解決に向けて動いてくれないと相談あり。本人ができることを一緒に考え実践する約束をすることができた。その後、その仲間とよい関係ができたと報告があった。</p>
② 市町村相談支援体制の評価 <p>・H29 年 4 月から開所予定の富士北麓基幹相談支援センター開所について、3 名採用のうち、1 名が決まっていない。再度、パート採用のことを提案している。</p> <p>・上野原市の社会福祉協議会から社会福祉士の有資格のある職員を探しているとの相談がある。しかし、どれも人材不足であり、大学との連携も必要となっている。</p>
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
<p>1/12（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会 PM 富士東部保健所</p> <p>1/18（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議 PM 富士東部保健所</p> <p>1/24（火）：東部自立支援協議会地域生活部会 AM 上野原市役所</p> <p>1/24（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会 PM 7～9 富士聖ヨハネ学園</p> <p>1/27（金）：富士北麓自立支援協議会相談支援部会</p>
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務 【評価及び課題】 <p>富士北麓の基幹相談支援センター設置場所の改修などハード面では整備が進んでいる。センター職員 3 名のうち 1 名の採用者がまだ決まっていない。富士河口湖町の精神障害者の相談は、基幹相談支援センターが設置されれば、優先して相談支援をお願いしたい事例である。</p> <p>東部地域の 3 市 1 村の委託相談支援事業もそのまま継続か同かも不明。東部では、先に基幹相談支援センターを作った市が出てくれば、残りの市も設置しざるを得ないという状況に置かれている。</p>
2、圏域内の体制作り
28 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
29 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
<p>1/25（水）：療育関係者研修会の打ち合わせ AM パルパルにて</p> <p>1/27（金）：PM 地域療育等支援事業 療育関係者研修会参加（講師紹介）富士ふれあいセンターにて</p>
30 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
【評価及び課題】 <p>・富士北麓自立支援協議会の相談支援部会と地域療育等支援事業の協賛で、「事例を通して関わり方や事例検討法を学ぼう」というテーマで、県立あゆみの家施設長を講師に迎え研修会を実施したが、すこぶる好評であり、継続してやっていく方向を検討している。圏域マネージャーとしても、強く希望していた研修会だったので実施できたことに感謝している。富士ふれあいセンター主催であると、学校や保育所などにも研修会の通知が届くので、いろいろな支援者の学びの場となる。</p>
12、 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
<p>1/6（金）：PM 県自立支援協議会の打ち合わせ（県庁）</p> <p>1/20（金）：1 日 県主催 虐待防止基礎研修会 ファシリテーターとして参加</p>

64 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
1/24（月）：県自立支援協議会 重度心身障害児・者部会 13:30～15:30 県立大学
65 地域自立支援協議会の協議事項報告
66 相談支援専門員協会の運営支援
1/14～1/5 全国相談支援専門員協会研修参加 国立オリンピックセンターにて
67 指定地域相談支援体制の再構築
1/19（木）：ピアサポーター会議にて、富士北麓と東部の両自立支援協議会が一緒になり、圏域の部会を検討。精神障害者の地域移行に絞って「富士東部圏域 地域移行推進部会」を設置する案が出された。後方支援を保健所（地域移行コーディネーター）が実施することになった。
68 圏域マネージャー連絡会議
69 その他の県との関係会議等
【評価及び課題】 全国相談支援専門員協会研修会に参加したが、山梨県から基幹相談支援センターの参加はなく、民間の通所系の相談支援事業所6名が参加。（篠崎 M 飯室 M 参加） 富士と東部で1つの部会や圏域の全体会を開催し、富士と東部という圏域単位での協議会を開催できないかと考えている。市町村の理解や部長への働きかけが必要。 1月6日に、県自立支援協議会の日程や開催をお願いしたが、その後なんの進展もなく、県自立支援協議会の担当者の意欲とやる気が伝わって来ない。開催できないならその連絡や理由を知らせてほしい。
13、 その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者支援
④ 研修会への参加
70 その他（法人内活動支援など）
1/17（月）：県立大学実習生のソーシャルワーク実践報告会に参加 ※28年の8月から9月にありんこに実習きた学生2名の発表があり、実習の成果が出ていた。 ※ありんこ理事長と基幹相談センターの人材について相談を受ける。
<評価及び課題> ・富士北麓基幹相談支援センターへ派遣できる職員が1名見つからず、ありんこ理事長へ市町村から相談があり、それを圏域マネージャーも理事長から相談を受ける。立ち上げるために3目年間支援もしてきた経緯から何とか人材を派遣できるように検討したい。

1 1、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
<ul style="list-style-type: none"> ・富士河口湖町：統合失調症男性。本人は色々な機関や場所に相談しているが、最終的には自分で動いてしまうことや、いろいろな人の助言が多く、自分で決めたことが揺らいてしまうため、なかなか前に進めない。一番の問題はお金がないこと、借金があることから、工賃が支給される B 型や A 型につなげたい。 ・富士吉田市：通所先を連続休んでいる利用者と連絡がつかず、家族があってもレグレクト状態。異父との関係が見えないため、妹の障害やネグレクトも心配なため、基幹相談支援センターが設置後に、多職種連携会議を開催する予定となる。
② 市町村相談支援体制の評価
・H29 年 4 月から開所予定の富士北麓基幹相談支援センター開所に向けて、富士吉田市と富士河口湖町が中心となって、法人などへ出向き、基幹相談支援センターの職員派遣の人材を探している。
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
2/5（金）：基幹相談支援センターについての相談を受け富士吉田市役所訪問する。
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
2/9（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会 PM 富士東部保健所
2/15（水）：富士北麓自立支援協議会運営会議 PM 富士東部保健所
2/28（火）：東部自立支援協議会地域生活部会 AM 上野原市役所
2/28（火）：富士北麓自立支援協議会地域部会 PM 7～9 富士聖ヨハネ学園
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
2/10（金）：東部地区福祉有償運送運営会議（大月市役所にて）
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
【評価及び課題】
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターの設置に向けて 6 市町村が団結して、人材探しからガイドラインの作成をして準備をしており、市町村間の連携が強化されてきた。1 名見つからない相談員については、社会福祉法人ありんこから選出することになった。 ・東部地区の福祉有償運送の会議に参加したが、今度、スカイコート大月でもサービスを開始することになり、小菅村の障害児・者がサービスを使いやすくなった。富士北麓にも福祉有償運送の資源が必要になってきている。
2、圏域内の体制作り
31 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
・地域移行が進んでいないことから、県の官民協働のプロジェクト会議に参加したメンバーと保健所で集まり、郡内版官民協働プロジェクト会議を開催する予定であったが、保健所の都合により中止となる。
32 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
33 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
【評価及び課題】
・富士・東部の地域移行を進めるために、保健所に音頭を取って頂き、協議できる場と市町村への周知をお願いしたいが、当圏域ではなかなか地域移行の体制整備ができていない。他圏域では、保健所が主催して数回、会議等が開催されているため、圏域の差も感じている。民の力でできることを検討したい。
1 3、 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
2/2（木）：山梨県就労支援事業所ネットワーク研修会開催 県防災新館
2/16（木）：山梨県虐待防止防止研修会 ファシリテーターで 1 日参加（ぴゅあ総合）
2/23（木）：山梨県相談支援現任サポート研修会 1 日 ぴゅあ総合
71 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
2/13（月）：山梨県自立支援協議会相談支援人材育成部会 本庁 5 階
2/21（火）：山梨県自立支援協議会 重度心身障害児・者部会 13:30～15:30 県立大学
72 地域自立支援協議会の協議事項報告
73 相談支援専門員協会の運営支援

74 指定地域相談支援体制の再構築
・地域移行の制度の対象にならない、または対象であっても制度に病院がのせないが、退院してくるケースは増えている。地域相談のケースを飛び越えて、直接委託相談へとつなげてきている。
75 圏域マネージャー連絡会議
76 その他の県との関係会議等
【評価及び課題】 ・県主催の虐待防止研修会では、毎年参加している法人や機関が同じであり、地域を見渡して利用者からの評価が低い事業所ほど参加していない。不参加の法人や事に向けて何か課題を出していかないと本当に差別や虐待が起こり得る可能性も感じている。出席して欲しい事業所や法人には声をかけているが、忙しいを理由に参加してもらえない。
14、 その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
2/18（土）：西桂町にて地域福祉の研修会開催
③ 当事者支援
④ 研修会への参加
77 その他（法人内活動支援など）
2/8（水）～17（金）：白梅学園大学実習生担当
2/15（水）：白梅学園実習担当者の巡回指導に参加
<評価及び課題> ・毎年2月は雪の季節のため、動きが少ない。

12、 市町村に対する支援
① 困難事例に対する支援
<p>富士河口湖町：40 歳代統合失調症男性。以前からのケースであったが、アプローチが必要なため、支援に入る。病院同行（3/21）同行するなかで入院費と通院時の未払いがあり、自立支援医療の申請もできない状況。</p> <p>日中何もすることがなく、お金のことが主で母親とケンカあるため、日中活動できる場を検討。29 年 4 月から開所する B 型の見学（327、3/28）を同行。やっと本人が気に入った事業所が見つかり、利用することになる。</p> <p>富士吉田市：20 代後半女性。県外の男性と結婚をしたいという主訴。離婚した夫との男児が児童養護施設にいる。男性歴が多く、結婚に向けての整理整頓が必要。母親としての能力にも問題があるが、本人の話を聴きながら、今後のことを検討していく。</p>
② 市町村相談支援体制の評価
<p>・ありんこの計画相談の職員が異動となり、基幹との連携もあるため、引継ぎに参加。ありんこの計画はありんこで継続できるように体制を作っていく。</p> <p>・委託相談から基幹相談に引き継ぐケースを整理し、計画相談と担当者の一覧表を作成。</p> <p>3/9、3/31、6 市町村と基幹相談の職員予定者、圏域マネージャーで体制の話し合いやケースの検討等</p>
③ 社会資源の点検、開発の支援に関する援助（資源のマップ作成、分析等）
<p>・29 年 4 月から開所予定の就労継続支援 B 型の 2 か所を見学及び当事者の同行をする。</p>
④ 地域自立支援協議会に参画し、運営についての助言、指導等
<p>3/2（木）：東部圏域自立支援協議会運営会議 PM2 から いきいきプラザ都留</p> <p>3/9（木）：富士北麓自立支援協議会就労部会 PM 富士東部保健所</p> <p>3/14（火）：東部圏域自立支援協議会 地域生活部会 PM 上野原市役所</p> <p>3/14（火）：富士北麓自立支援協議会運営会議 PM 富士東部保健所</p> <p>3/16（水）：富士北麓自立支援協議会 相談支援部会 AM10～ 富士東部保健所</p> <p>3/23（水）：東部圏域自立支援協議会全体会 PM 道志村 山ゆりの里</p> <p>3/28（火）：富士北麓障害者自立支援協議会 地域部会 PM7～ 富士吉田市社会福祉協議会富楽時にて</p>
⑤ 地域ニーズに応じた専門システム（権利擁護、就労支援等）立ち上げのための助言、指導等
<p>・東部圏域自立支援協議会の日中活動部会と富士北麓障害者自立支援協議会就労部会と連携し、研修会などは圏域単位で開催する案を出す。（ビジネスマナーや雇用主ワークショップ等）</p>
⑥ 市町村が設置する身体障害者相談員及び知的障害者相談員並びに精神障害者相談員の活動支援のための圏域障害者相談員アドバイザー業務
<p>【評価及び課題】</p> <p>富士吉田市社会福祉協議会では、4 月から法人後見を開始することになった。28 年度の日常生活自立支援事業は 52 名が支援を受け、その中では後見の対象が増えていることから、首長申立てと市内在住及び樹民票のある方が対象。後見人が少ない地域において、社協が後見を実施することは嬉しい。</p>
2、圏域内の体制作り
34 広域的・課題、複数圏域にまたがる課題解決に向けた連絡調整会議の開催等
<p>3/16（木）：地域移行支援事業 ピアサポーター連絡会議 PM 都留いきいきプラザ</p> <p>3/29（水）：富士北麓地区日常生活自立生活支援センター自立生活支援計画実行委員会参加</p>
35 圏域内の相談支援従事者のスキルアップ研修体制の構築
<p>3/3（金）：富士・東部相談支援ネットワーク研修会 講師 山梨ダルクの佐々木さん</p> <p>大月市福祉センターにて 薬物やアルコール依存者への理解が深まった。</p>
36 圏域ごとの相談支援専門員や障害者相談員の連携体制の構築
<p>平成 29 年度の富士・東部相談支援ネットワークを年 6 回予定。そのうち 3 回を地域移行（郡内版官民協働 PT）についての会議や研修会を実施予定。</p>
【評価及び課題】
<p>地域移行が進まない圏域において、今後どのような体制づくりが必要か課題。いろいろ提案するものの、市町村の意識変化がないとなかなか進展しない。まずは、保健所と民間（相談支援事業所、基幹相談支援センターなど）でネットワークを作り、仕掛けていくような方策を考えて行く。</p>

14. 県との連携、協力
①県及び県自立支援協議会と連携（研修についての実施方針の策定、講師選定、カリキュラム原案作成、会場選定等
3/28（火）：H28 年度山梨県障害福祉課主催の相談支援研修のふり返し 今後の予定 PM 防災新館 402 会議室
78 県自立支援協議会の運営支援（事務局参画、部会運営など）
3/6（月）：県自立支援協議会 運営会議 県庁本館 5 階 3/17（金）：県自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 中央市期間相談支援センター穂のか 3/22（水）：県自立支援協議会 全体会 PM 防災新館 408 会議室
79 地域自立支援協議会の協議事項報告
3/22 の県自立支援協議会にて甲府市からの「メンターカフェ」について提案書が提出された。内容については、障害福祉課で検討する。
80 相談支援専門員協会の運営支援
81 指定地域相談支援体制の再構築
・指定一般相談支援事業所は、富士北麓で 2 か所、東部では 1 か所となり、地域移行の対象者が病院からも紹介や相談がない状況。計画相談も含めて赤字の事業では、今後、指定一般も指定特定の相談支援事業所は減っていく傾向にある。
82 圏域マネージャー連絡会議
83 その他の県との関係会議等
3/15（水）：主管課長会議の市町村説明会に参加 PM 防災新館
【評価及び課題】 やっと県の自立支援競技会が開催され課題の整理や抽出ができてよかったが、議事進行役をした立場では、2 時間で膨大な議案を話し合うこと自体に限界を感じる。また、圏域の報告をする時間もなく、地域の情報交換、情報提供もない。県の施策に反映するためだけが協議会ではなく、官民協働であることから、当事者の声や圏域の課題を県としては把握して受容することも大切だと感じる。
15. その他
① 事業所向けの研修会の開催
② 地域住民を対象とした啓発研修会の開催
③ 当事者支援
・統合失調症の男性で、委託相談では困難事例となっていたため、直接かかわり、関係を築きながら、服薬を続け、就労継続支援 B 型の見学から利用となり、とりあえず、多々ある課題の 1 つを解消できた。
④ 研修会への参加
3/8（水）：グループホームにおける防災訓練 午後 1:45～ 甲府市民会館 2 階
84 その他（法人内活動支援など）
3/7（火）：ありんこ主催の研修「共生社会を考える研修会」の講師との打ち合わせ（健康科学大学 鷲野先生研修室にて） 3/9（水）：ありんこ主催のアンケート作成や名簿作成などの準備 3/10（木）：準備 3/11（土）：ありんこ主催の「共生社会を考える研修会」開催 富士吉田市民会館 3/17（金）：社会福祉法人ありんこ提出用の事業計画作成 3/30（木）：ありんこ計画相談と委託相談の引継ぎ参加
<評価及び課題> ・3 月 11 日にありんこ主催の研修会開催。もっと相談支援に関わる方に参加して欲しかったが、当事者も多く、司法から福祉への流れや福祉の支援者としてのあり方が良く理解できた。今後も、支援の対象者が拡大することから、多様化できる支援のあり方を検討していきたい。